

# 年 報

第47集

平成28年度文化財調査報告書



前橋市教育委員会



## はじめに

遺跡発掘現場においては、現在では文化、あるいはもっと大きな括りで歴史と呼ばれる、今は跡形も無く土に埋もれてしまった遠い過去の暮らしを掘り返し、そのわずかな手がかりから歴史の空白を一片づつ埋めてゆくという地道な作業が本日も行われています。

一方、我々が住むまちには、いまに伝承された文化、それは地域に根ざす民俗芸能であったり、技巧の粹を施した美術工芸品、建築物などがありますが、これら現代を生きる我々の心の充足にも大きく寄与している事象の保護発展に尽力している方々がいます。

前橋市は、これらの調査や保護、支援活動に加え、今後の当市の文化活動の拠点となる施設の整備を進めて来ましたが、平成28年度は上野国府をはじめとする遺跡発掘調査が順調に推移したほか、大規模改修を行った「臨江閣」の整備も進み、いよいよ今後の活用について具体的に計画し、実施する段階となりました。

市民参加という面では「大室古墳の教室」が成果を上げています。地元の史跡を巡り、郷土の歴史を講聴するほか、埴輪や土偶などを作りもしますが、簡単な作業ではありません。古代の人々の技術や知識を身をもってうかがい知ることができます。

子供たちも、金属を溶かし、型に入れて成型することがいかに優れた技巧であったかを学ぶはずです。

今年度、総社歴史資料館が新たに開館しました。多くの市民が見学に訪れ、充実した展示内容とともに、講座等で貴重な体験をすることでしょう。いろいろな機会を提供したいと考えております。

本市の文化財保護、調査活動が人々の生活を潤し、新しい芽を育んで行くことを願い、今後の施策を実施してまいりたいと思います。

平成29年 3月31日

前橋市教育委員会

教育長 佐藤 博之

# 目 次

はじめに

## 第1章 文化財調査委員による調査

1 樹木調査「沼の窪のザゼンソウ」	1
2 建造物調査「如意寺地蔵堂」「大徳寺總門」	1
3 樹木調査「沼の窪のザゼンソウ」	1
4 市外視察調査	1

## 第2章 指定文化財

1 国指定史跡の追加指定	2
2 指定文化財の一部指定解除	2

## 第3章 文化財保護事業

1 保護管理運営事業	3
2 整備事業	8
3 普及事業	12

## 第4章 埋蔵文化財事業

1 埋蔵文化財発掘調査事業	23
2 市内遺跡発掘調査事業	38
3 遺跡台帳整備事業	38
4 埋蔵文化財資料整備事業	38
5 文化財資料管理	40
6 上野国府等保存整備事業	40

あとがき

## 第1章 文化財調査委員による調査

今年度は、以下4件の文化財調査委員による調査を実施した。

### 1 樹木調査「沼の窪のザゼンソウ」

- (1) 日 時 平成28年6月14日（火）  
(2) 調査対象物件 沼の窪のザゼンソウ  
(3) 調査者 大森委員、能登委員  
(4) 概要

昨年度、猪の被害にあっており、その後の経過確認調査を実施し、指導助言を受けた。



### 2 建造物調査「如意寺地蔵堂」「大徳寺總門」

- (1) 日 時 平成28年10月17日（木）  
(2) 調査対象物件 ①如意寺地蔵堂  
②大徳寺總門  
(3) 調査者 村田委員、井上委員  
(4) 概要

調査依頼のあった如意寺地蔵堂と、現在、文化財保存事業費補助金により解体修理中の市指定重要文化財「大徳寺總門」の状況調査を実施し、指導助言を受けた。



如意寺地蔵堂

### 3 樹木調査「沼の窪のザゼンソウ」

- (1) 日 時 平成28年12月2日（金）  
(2) 調査対象物件 沼の窪のザゼンソウ  
(3) 調査者 大森委員、能登委員  
(4) 概要

6月の調査に引き続き、その後の経過確認調査を実施し、指導助言を受けた。



### 4 市外視察調査「川越市・川島町」

- (1) 日 時 平成28年12月15日（木）  
(2) 調査対象物件 安井政章墓（川越市）  
川島の鳥羽井堤（川島町）  
廣徳寺大御堂（川島町）  
遠山記念館（川島町）  
(3) 調査者 井上委員、岡田委員、  
能登委員、村田委員  
(4) 概要

隔年で実施しているものである。今年度は、川越市及び川島町の協力の下、国指定文化財を中心して視察調査を行った。川越市では、「岩神の堤」も構築した安井政章（与左衛門）の墓と川島町に築造した鳥羽井堤を視察。また、川島町にある国指定重要文化財である廣徳寺大御堂と国登録有形文化財である遠山記念館を視察した。



廣徳寺大御堂

## 第2章 指定文化財

本年度は、国指定史跡にかかる追加指定と市指定文化財の一部指定解除を行った。

### 1 国指定史跡の追加指定

#### (1) 史跡女堀

史跡女堀は、赤城山南麓の裾野にあたる前橋市上泉町から伊勢崎市田部井町にかけての全長約13kmに及ぶ長大な農業灌漑遺構である。文献に登場しないことから、長らく謎の遺構とされたが、昭和50年代に群馬県教育委員会が実施した発掘調査によりその様相が明らかにされ、昭和58年に本市内の5地区と伊勢崎市内の1地区が史跡に指定され、平成6年に一部追加指定されている。

今回史跡に追加指定された箇所は2地区である。二之宮地区は堀南側の掘削排土が現在も良好に残る箇所である。また、東大室地区は堀の北側法面および北側排土置場で、すでに削平されているものの、地権者からの聞き取りによると、かつては盛土を良好に見ることができたという。両地区ともこれまで土地所有者の同意が得られず、史跡指定がなされなかつた箇所である。その後、二之宮地区は平成18年度に地権者からの寄付を受けて公有化を行っている。また、東大室地区は平成23年に台風の影響による堀の法面崩落が発生し、文化庁・群馬県・地権者との協議の結果、今後の公有化を前提として国庫補助事業で災害復旧工事を行った。平成23年度より隣接する伊勢崎市赤堀地区で範囲確認調査が実施され、堀北側の掘削排土の範囲が把握されたことにより、東大室地区的掘削排土の範囲を推定することが可能になったものである。

両地区とも平成28年10月3日付官報告示により追加指定がなされた。

なお、民有地であった東大室地区的追加指定地については、国庫および県費補助を受け、平成28年度に公有化を行った。



東大室地区追加指定地

### 2 指定文化財の一部指定解除

臨江閣本館、茶室及び別館の棟札計3枚を最終的に紛失したと判断したため、一部指定解除を行った。

#### 1. 紛失した文化財

##### (1) 名称

群馬県指定重要文化財「臨江閣本館及び茶室2棟 附棟札2枚」(昭和61年3月7日指定)

前橋市指定重要文化財「臨江閣別館付棟札及び渡廊下」(昭和61年6月6日指定)

\*アンダーラインが紛失した文化財 計3枚

(2) 所在地 前橋市大手町三丁目1番

(3) 所有者 前橋市長 山本 龍

#### 2. 経緯

平成19年、中央公民館が前橋プラザ元気21へ移転するのに伴って、臨江閣が文化財保護課へ所管替えになった。それに先立ち、平成8年度に指定文化財の状況確認をしたところ、棟札が所在不明であることを確認した。その後も継続的に所在調査を続け、平成28年度に臨江閣別館の改修工事で、別館屋根裏を確認したが棟札がなかったことで、最終的に紛失という判断にいたった。

平成28年1月26日付けで、群馬県教育委員会事務局文化財保護課へ、所有者である前橋市長名で、滅失等届けを提出。その後群馬県と前橋市のそれぞれの群馬県の文化財保護審議会及び前橋市文化財調査委員会にて審議され、一部指定解除となった。指定解除後の名称はそれぞれ「臨江閣本館及び茶室2棟」「臨江閣別館及び渡廊下」となった。



二之宮地区追加指定地

## 第3章 文化財保護事業

### 1 保護管理運営事業

#### (1) 国有文化財管理

国有文化財天川二子山古墳と総社二子山古墳の2箇所について実施した。見廻り看視、清掃等の日常管理については、自治会役員を国有文化財看視人として委託した。落枝の処分については、職員が定期的に行った。定期除草は、天川二子山古墳は前橋市シルバー人材センターに、総社二子山古墳は「みんなの店運営委員会」に業務委託し、それぞれ2回実施した。



大胡城竹林除去の状況

#### (2) 国・県・市指定文化財管理

今年度、新たに指定・登録された文化財数を反映した平成29年3月末日現在の指定文化財の数は、以下一覧表の通りである。

指 定 名 称	国指定	県指定	市指定	合 計
重 要 文 化 財	5	39	141	185
史 跡	11	12	45	68
無 形 文 化 財	0	0	0	0
有形民俗文化財	0	0	24	24
無形民俗文化財	0	2	21	23
天 然 記 念 物	2	3	13	18
名 勝	0	1	0	1
合 計	18	57	244	319
登録有形文化財	24			24
登録有形民俗文化財	1			1
重 要 美 術 品	8			8

#### ① 史跡の樹木管理

- 危険樹木の伐採：大胡城跡・五代大日塚古墳・前二子古墳・女堀（二之宮地区）・小二子古墳・後二子古墳・中二子古墳・遠見山古墳
- 倒木撤去：遠見山古墳・天川二子山古墳
- 樹木剪定：総社二子山古墳

#### ② その他の環境整備

- ・県指定史跡大胡城跡竹片付けの業務委託を行った。  
実施期間 29年1月23日～3月17日  
実施場所 西側斜面 370 m<sup>2</sup>
- ・ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業を活用し、  
国指定史跡 女堀西沼の竹林刈払い業務 0.5ha を  
行った。

除草業務一覧表

	史跡名	区分 (指定)	除草面積 延べ(m <sup>2</sup> )
1	前橋城 車橋門跡	市	750
2	亀塚山古墳	市	7,452
3	金冠塚古墳	市	7,221
4	八幡山古墳	国	50,562
5	宝塔山古墳	国	3,306
6	蛇穴山古墳	国	600
7	蛇穴山古墳 隣接地	国	5,928
8	総社二子山 古墳隣接地		792
9	女堀(1)	国	82,032
10	不二山古墳	市	1,713
11	大日塚古墳	市	1,686
12	荒砥富士山 古墳	市	4,050
13	大胡城跡	県	23,620
14	大胡城跡(急 傾斜地)	県	5,000
15	堀越古墳	県	873
16	遠見山古墳	市	5,829
17	阿久沢家住 宅	国	3,600
19	膳城跡	県	3,171
20	日本間酒店	市	3,000
21	女堀(2)	国	5,666
22	今井神社古 墳	市	4,624
23	天神山古墳	県	365
合 計			221,840

### (3) 文化財の保護

#### ① 指定文化財の現状変更について

今年度の現状変更は、国指定が2件、県指定が3件、市指定が1件であった。

現状変更詳細一覧

種別	指定名称	内容
特天	カモシカ	疥癬治療
県天	時沢の夫婦マツ	マツの穂先採取
県史	前橋天神山古墳	墳丘部の鉄骨造構造物撤去。ネットフェンスを撤去し、転落防止柵を設置する。
県史	膳城跡	説明板の立替え
市天	元總社石井家のクスノキ	枝の剪定

#### ② 防火査察及び文化財防火訓練

##### ア 防火査察

40件の文化財査察対象物に対して9編組成を組み、前橋市消防局(各消防署)及び東京電力㈱等と協力して、合同立入査察を実施した。



査察の様子

○平成28年1月24日(火)

##### 《第6班南消防署：3施設》

円満寺薬師如来座像(後閑町 円満寺)、駒形町午頭天王の獅子頭(駒形町 駒形神社)、旧アメリカンボード宣教師館(小屋原町 共愛学園)

##### 《第8北班消防署：2施設》

日輪寺寛永の絵馬・十一面觀世音像(日輪寺町 日輪寺)、鉄造阿弥陀如来坐像(端氣町

##### 善勝寺)

##### 《第7班南消防署：5施設》

慈照院千手觀音坐像(二之宮町 慈照院)、二宮赤城神社絵馬・梵鐘・納曾利面(二之宮町二宮赤城神社)、無量寿寺地蔵菩薩立像・十一面觀音立像(二之宮町 無量寿寺)、旧間根家住宅(大室公園)、産泰神社本殿・幣殿・拝殿・神門及び境内地(下大屋町 産泰神社)

##### 《第9班北消防署：4施設》

萩林庵の阿弥陀像(富士見町原之郷)、原西の阿弥陀像(富士見町原之郷)、時沢の仁王と多宝塔(富士見町時沢)、珊瑚寺の板碑と多宝塔(富士見町石井 珊瑚寺)

○平成28年1月25日(水)

##### 《第1班中央消防署：4施設》

梵鐘(千代田町三丁目 妙安寺)、前橋藩主松平家奉納能装束一式(大手町三丁目 東照宮)、酒井家史料<129点>・前橋祇園祭礼絵巻<二巻>(市立図書館)、酒井重忠画像(大手町三丁目 源英寺)

##### 《第5班西消防署：4施設》

光嚴寺薬師門・打敷・油單並びに幡(総社町総社 光嚴寺)、上野總社神社本殿・他(総社町一丁目 総社神社)、徳藏寺懸仏・麻本著色両界曼茶羅一対(元総社町 徳藏寺)、大徳寺総門・多宝塔(小相木町 大徳寺)

##### 《第2班中央消防署：6施設》

旧蚕糸試験場事務棟(敷島公園ばら園)、神明宮の甲冑・奈良三彩小壺(総合教育プラザ)、東福寺鰐口(三河町一丁目 東福寺)、石造薬師三尊立像(亀泉町 宝禪寺如意寺)、上泉郷藏附上泉文書・上泉の獅子舞(上泉町)、横室の歌舞伎衣装(総合教育プラザ)

○平成28年1月26日(木)

##### 《第3班東消防署：6施設》

木造十一面觀音立像(柏川町女渕 観音堂)、堀下の仏像群(堀越町)、旧諏訪神社の宝物・堀越掛舞台下座一对(堀越町 金蔵院)、大胡神社の算額(河原浜町 大胡神社)、柏倉諏訪神社の歌舞伎舞台・他(柏倉町 諏訪神社)、狂歌合わせの額・他(市之開町 住吉神社)

##### 《第4班東消防署：5施設》

込皆戸三番叟人形一括(前橋市柏川出土文化財管理センター)、阿久沢家住宅(柏倉町)、三夜沢赤城神社本殿内宮殿(三夜沢町 赤城神社)、金剛寺木造十一面觀音坐像・他(苗ヶ島町 金剛寺)、近戸神社御奥・他(柏川町月田 近戸神社)

## イ 文化財防火訓練

日輪寺敷地内の日輪寺町公民館から出火し、市指定重要文化財の絵馬が収蔵されている隣接する観音堂へ延焼する恐れがあるという状況設定のもと、文化財の搬出や延焼防止、火勢制圧を想定した演習により、中継送水・水幕ホース設定・放水訓練が行われた。

○平成29年1月29日(日)

午前9時30分から午前10時30分まで  
会場：日輪寺 前橋市日輪寺町412番地

### (参加機関)

前橋市消防局（北消防署、中央消防署）、前橋市消防団（第9分団）、日輪寺住職、地区住民、前橋市文化財保護課



訓練の様子

た。

建物内の4つの展示室(①開所当時の様子を示す資料②はき立てから繭出荷までの養蚕具③上州座縫器をはじめとして製糸業に用いる用具器械④機織り機や養蚕信仰の資料)において資料を展示し、蚕糸業とともに歩んできた前橋の近代化を偲ぶ記念館として公開している。

春のばら園まつり、秋のバラフェスタの開催に合わせて、富岡製糸場世界遺産伝道師協会等の協力を得て、座縫り体験・桑の木クラフト体験を数回行っているが、本年度は秋のバラフェスタにおいては、繭クラフト体験を加えて実施した。

開館日は、4月～11月の土・日・祝日（ばら園まつり・バラフェスタ開催期間中は毎日）で本年度の来館者は6,302人であった。



座縫り体験

## ③ 文化財パトロール

市内を10地区に分け、各地区に文化財保護指導員を配置し、指定文化財のパトロールを行った。月1度の報告により除草や修理の対応をした。第1回会議は平成28年4月18日に行い、平成28年11月17日の県外研修では、茨城県五霞町の穴蔵師古墳・千葉県野田市の水塚・鈴木貫太郎記念館・千葉県立関宿城博物館・関宿水閘門の見学を行った。



繭クラフト体験

## (4) 前橋市蚕糸記念館の管理・活用

県指定重要文化財である旧蚕糸試験場事務棟を敷島公園ばら園内に移築し、昭和57年4月に前橋市蚕糸記念館として一般公開した。

開館日の管理は、前橋市シルバー人材センターに委託し、見学者の受付や館内外の清掃を行っている。

このほかの管理業務として、消防設備保守点検、桶及び周辺清掃業務をそれぞれ専門業者に委託し

### (5) 前橋市總社歴史資料館の管理・活用

前橋市總社資料館は、9月まで總社公館敷地内の代替施設内であったが、10月には新築の總社歴史資料館が開館した。新歴史資料館は、常設展示として1階に「1. 總社地区的文化財」「2. 東国の大宝『總社古墳群』」「3. よみがえる幻の白鳳寺院『山王庵寺』」「4. 秋元氏天狗岩用水」の4つのコーナーがある。また2階には、「昔の道具」の展示がある。

見学対応にあたっては地元で組織されている説明員の会に委託を行っている。毎年秋には、市内の小学4年生が天狗岩用水の現地見学に訪れている。資料館では、「秋元氏と天狗岩用水」の展示解説と昔の道具の体験を案内している。また、その他にも団体や学校、一般の来館者に、希望に応じて總社地区的古墳の説明や付近の古墳の案内にも応じている。

説明員の会には、近隣の史跡の清掃も依頼している。月3回、2人ずつ、年間36回程度。

開館日数は153日、来館者数は5,846人。50の団体・個人・学校の見学対応を行い、そのうち学校見学は、37校2,378人であった。

3月には説明員の研修会を実施した。今回は、太田市・熊谷市・深谷市の文化財や関連施設を視察した。太田市の旧中島家住宅(中島知久平邸)、熊谷市の歓喜院聖天堂、深谷市の尾高惇忠生家、渋沢栄一記念館、渋沢栄一生地、誠之堂、清風亭を巡った。現地での見学で、解説や説明を聞き見聞を広めることができた。また、資料館での説明の方法など、今後の案内や解説の参考となる実りの多い研修となった。



説明員の会視察研修

<旧中島家住宅（中島知久平邸）国重要文化財>

### (6) 前橋市柏川歴史民俗資料館の管理・活用

柏川歴史民族資料館は、大胡、宮城、柏川地区などの赤城南麓地域の歴史や民俗が学習できる施設として活用している。今年度は春季と秋季に企画展を開催し多くの市民に関心を持っていただくなことをねらった。年間の開館日数は208日入場者数合計1,926人。

春季企画展・・・「前橋と利根川—岩神の飛び石から前橋城—」を開催した。

開催期間は平成28年4月28日(木)から平成28年9月25日(日)までであった。

秋季企画展・・・「里の寺と山の寺—山王庵寺と宇通遺跡」を開催した。

開催期間は平成28年10月15日(土)から平成29年3月5日(日)までであった。

### (7) 前橋市柏川出土文化財管理センターの管理・活用

現在施設は、赤城山南麓の旧町村の出土遺物の収蔵庫、隣接する柏川歴史民俗資料館の収蔵庫として、活用している。

施設内の機械警備、小荷物専用昇降機、浄化槽保守点検、消防設備保守点検は、業務委託により引き続き管理を行っている。

### (8) 大室公園史跡の管理・活用

一般公開している大室古墳群の石室入口の鍵開閉や日常の保守・点検・清掃等については地元住人に管理業務を委託している。

県内外から多くの見学者が訪れる公園内の古墳群であることから、市民ボランティア「古墳の語り部」が史跡案内等を行なっている。

例年6月に開催している大室イベントでは、各種体験コーナーを設けているが、本年も座繰り体験等で富岡製糸場世界遺産伝道師協会伝道師の協力を得て開催することができた。

(イ) 管理業務実施日は以下のとおり。

4月から11月まで:月曜日を除く毎日。

12月から3月まで:土・日・祝日。

前二子、後二子石室

鍵開け 午前9:00

鍵閉め 午後4:00

(ロ) 点検場所

1. 前二子古墳 2. 中二子古墳 3. 後二子古墳 4. 小古墳

※清掃は石室開閉時に実施。

(ハ) 年末年始休業

1月29日(木)から1月3日(火)まで

## (9) 前橋市民家園の管理・活用



民家園外観

開園日の管理はシルバー人材センターに委託。茅葺屋根保存維持のための専門業者による薰蒸は6回実施。

開園日は、4月～11月（木・金・土・日・祝日）、12月～3月（土・日・祝日 \*年末年始休園）平成28年度の開園日数は180日。来園者数は8,768人。

「大室イベント」や「大室古墳の教室」各事業での会場、「大室古墳の語り部」ボランティアの活動拠点としても例年同様に利用された。

## (10) 露江閣の管理・活用

今年度は、耐震改修や屋根葺き替え工事、冷暖房設備などの便益設備導入などの修復改修工事のため、閉館。

日常管理については、10月20日から本館と茶室の清掃のみを業者委託した。

## (11) 阿久沢家住宅の管理・活用

平成24年度に本住宅を公有化して以降実施してきた整備事業が完了したため、5月にオープニングセレモニーを行い、本住宅を活用した事業を実施した。

今年度より、合併4地区の赤城山ろく地域の豊かな自然や文化を生かした里山体験活動である「赤城山ろく里山学校事業」がスタートし、宮城地区では本住宅を会場として実施することとなった。8月には1泊2日で宿泊体験活動を行い、食事の準備からや野菜の収穫体験などを行った。また、11月には半日体験活動として芋ほりやなわいなどの体験活動を行った。

本住宅の管理については、地元の「阿久沢家住宅を守る会」に委託して実施してきたが、会員の高齢化により継続が難しくなってきたため、本年5月より外部に委託して行うこととなった。また、住宅の燻蒸を業者に委託して年6回実施し、住宅の適切な維持管理に努めた。

## (12) 旧本間酒造の管理・活用

・平成28年4月10日に一般公開を行い、140名の参加者が見学した。



・敷地北側の樹木剪定業務を行った。

・旧本間酒造利活用にかかる意見交換会第1回を平成29年2月16日、第2回を平成29年3月23日に開催し、今後の活用について議論が行われた。出席者：前橋市議会議員（総社地区）・総社地区自治区連合会・総社町栗島自治会長・総社地区生涯学習奨励員連絡協議会・総社歴史資料館説明員の会・総社地区民生委員児童委員協議会・総社地区老人クラブ連合会・総社地区食生活改善推進員会

## (13) 刀剣の製作承認及び市有刀剣の管理

5口（太刀3、短刀2）の承認申請があり、すべてを承認し、承認後、県公安委員会及び県教育委員会文化財保護課へ承認した旨を通知した。

本市に寄贈された刀剣を良好な状態で保存するため、毎年実施している専門的な技術者による手入れを今年度は11月と3月の2回実施した。

対象刀剣類は7種53口。

鋒がある等、別途委託をするものは見受けられなかった。



## (14) その他

前年の大胡収蔵庫解体に伴い、大胡収蔵庫用地を市長（資産経営課）に引き継いだ。

## 2 整備事業

### (1) 臨江閣整備

#### ○ 前橋市臨江閣整備委員会

臨江閣を末長く保存整備し、積極的な利活用を図っていくなければならない。そのため、本市を代表する近代和風建造物である臨江閣の整備について、文化財保護、建造物調査、整備工事等の専門的な見地から検討し、及び協議を行った。

#### ① 第9回前橋市臨江閣整備委員会

##### ア 開催日及び会場

平成28年5月11日

臨江閣別館1階西洋間

##### イ 出席者

（委員）井上委員長、村田委員、松野委員、

清水委員

（建築JV）竹中工務店石塚所長ほか担当者

（調査業者）景観建築研究機構羽鳥理事長  
ほか担当者

（教育委員会）佐藤教育長、関谷教育次長

（関係課）教育施設課大館課長、木村補佐、  
高橋副主幹、松本主任

（事務局）文化財保護課小島課長、田中副参  
事、登山副主幹、大野副主幹、吉  
田副主幹

##### ウ 内容

- ・委嘱式（新規2名：井上委員、清水委員）
- ・協議

- (1) 臨江閣保存整備事業建築工事について
  - (2) 振動等調査及び見学会実施時期について
  - ・工事箇所等の確認
- 上記内容について協議・検討を行い、工事  
箇所等の確認のため館内を見学した。

#### ② 前橋市臨江閣整備委員会建築部会

##### ア 開催日及び会場

平成28年6月23日

竹中・吉田JV現場事務所

##### イ 出席者

（委員）村田委員、内田委員、松野委員

（建築JV）竹中工務店石塚所長ほか担当者

（調査業者）景観建築研究機構羽鳥理事長ほ  
か担当者

（関係課）教育施設課大館課長、木村補佐、  
高橋副主幹、松本主任

（事務局）文化財保護課小島課長、田中副  
参事、登山副主幹、大野副主幹、  
吉田副主幹

##### ウ 内容

- ・協議

- (1) 臨江閣保存整備事業建築工事現状報告と

### 相談事項について

#### ③ 臨江閣整備委員による施工指導

##### ア 開催日及び会場

平成28年8月31日 工事現場

建築JV、景観建築研究機構、教育施設課、  
文化財保護課立会いのもと臨江閣整備委員で  
ある村田委員から施工指導を受けた。

#### ④ 第10回前橋市臨江閣整備委員会

##### ア 開催日及び会場

平成28年11月24日

竹中・吉田JV現場事務所

##### イ 出席者

（委員）井上委員長、村田委員、内田委員、  
清水委員

（群馬県）文化財保護課齊藤指導主事

（建築JV）竹中工務店石塚所長ほか担当者  
（調査業者）景観建築研究機構羽鳥理事長ほ  
か担当者

（関係課）教育施設課松本主任

（事務局）文化財保護課小島課長、田中副参  
事、登山副主幹、小川副主幹

##### ウ 内容

- ・協議

- (1) 臨江閣保存整備事業建築工事現状報  
告と相談事項について

#### ○ 臨江閣保存整備事業建築工事ほか（債務負 担行為）

今年度より2ヵ年度計画で、臨江閣の大規模な保存整備工事に着手した。工事内容は、別館の屋根葺替、基礎補強、下屋補修、建具補修、漆喰壁補修等大規模改造及び耐震補強と本館別館の空調設備設置工事等する予定。また平成27年度に施工者が決まっていない電気設備及び本館空調設備設置工事について指名競争入札で施工業者を決定した。

臨江閣から降ろした再利用可能な一部の瓦は、7月14日に敷島小学校6年生の児童に洗浄体験後、記名をしてもらった。その瓦は、後日臨江閣の北側大屋根に葺きなおした。

各工事は、4月末にすべて完了予定。その後関連工事等を行い、全ての工事は7月末に完了予定。

##### 【工事費】

建築工事 451,904,400円

機械設備工事 38,793,600円

電気設備工事 20,638,800円

本館空調設備設置工事 13,284,000円

## (2) 総社歴史資料館整備

平成 27 年度に建物の整備工事を行った総社資料館について、昨年度に引き続き整備事業を行った。建物の外構は、資料館と蛇穴山古墳の間の広場・駐車場の整備、駐輪場の設置などを行い、展示制作を昨年度に引き続き 6 月 30 日まで実施した後、10 月より「総社歴史資料館」として開館した。また、10 月 16 日にはオープニングセレモニーを開催して、記念式典や、右島群馬県立歴史博物館長による記念講演を行った。

展示構成は、「総社古墳群」、「山王庵寺」、「秋元氏と天狗岩用水」を大きな柱とした。展示方法をジオラマ・復元品を多用した展示や、AR・VRなどの I C T を活用した展示にして、見て・触れて学ぶことのできる、地域学習の核となる展示を目指した。

資料館での展示に加え、総社歴史資料館のホームページを立ち上げて、資料館の周知を行うとともに、周辺文化財の情報を地図上に表示させて、文化財散策に使用する「フィールドミュージアム」機能を盛り込み、史跡に取り囲まれた環境を生かした展示を心がけた。



総社歴史資料館外観 及び 展示室



総社歴史資料館ホームページ



記念講演会の様子

## (3) 阿久沢家住宅整備事業

平成 24~27 年度にかけて屋敷林間伐等の周辺環境整備や、屋根葺替等の住宅本体の整備、管理棟建設などの周辺施設整備を行い、平成 28 年 5 月 8 日にオープニングセレモニーを実施した。セレモニーでは、式典のほか、吹奏楽演奏や詩吟吟鑑賞、そば打ち実演・試食会、お茶会などのイベント、群馬県文化財保護審議会専門委員の村田敬一先生による建物解説会を行い、180 名ほどの参加があった。

これまでの周辺環境や施設整備で本住宅の見学・利用環境は大きく向上したが、本住宅の活用にあたり、大型車を含めた駐車場の不足といった課題が浮き彫りになった。このことから、今年度より、本住宅東側の県道大胡・赤城線沿いの場所に、大型車も駐車可能な駐車場の整備を行うこととし、平成 29 年度にかけての繰越事業として実施予定である。



オープニングセレモニー



建物解説会

#### (4) 岩神の飛石整備事業

岩神の飛石の環境整備事業は、昭和51年度に柵・標識及び説明板設置工事が実施されて以来の事業である。平成25年度からの継続事業であり、今年度は、岩神の飛石の安全管理のための基礎計画を策定するための安全対策調査及び安全管理の検討を行い、過年度までの環境整備事業報告書を基に調査データを加味した上で、保存活用計画をまとめた。

##### 【事業の概要】

事業主体	前橋市
事業名	天然記念物岩神の飛石 史跡等保存活用計画策定事業
事業費	2,213,600円
実施期間	平成28年4月1日 ～平成29年3月31日
実施方法	国、群馬県からの補助金を受け、文化財の修理に精通した業者と工事請負契約を締結し実施。
委託内容	①岩石安定性検討調査業務委託 ②計画書作成業務委託

保存活用計画策定するにあたり有効且つ円滑に行うため、新たに立ち上げた有識者によるワーキンググループと環境整備委員会とワーキンググループを開催し、指導助言をいただきながら事業を実施した。

##### 【参考】

###### (環境整備委員)

野村哲委員長、井上唯雄委員、能登健委員、瀬尾茂委員、小池洋七委員、浅野敏雄委員(ワーキンググループ委員)

###### ・活用WG

早田勉委員、下岡順直委員、菅原久誠委員、能登健委員、田村裕之委員、簗正人委員、竹内健二委員、高橋志保委員、浅野敏雄委員

###### ・安全防災・管理WG

瀬尾茂委員、小池洋七委員、浅野敏雄委員、稻葉弘委員、富士田修委員、藤生優子委員

###### (指導助言)

文化庁 柴田伊廣技官、県教委 小堀高広指導主事

県自然史博物館 菅原久誠学芸員、前前橋市文化財調査委員 片山満秋委員

###### (開催会議)

○第1回国指定天然記念物「岩神の飛石」環境整備委員会議(平成28年9月23日実

施)

○第2回国指定天然記念物「岩神の飛石」環境整備委員会議(平成29年3月6日実施)

○第1回岩神の飛石活用ワーキンググループ会議(平成28年11月25日実施)

○第1回岩神の飛石安全防災・管理ワーキンググループ会議(平成28年12月5日実施)

○第2回岩神の飛石活用ワーキンググループ会議(平成28年12月22日実施)

○第2回岩神の飛石安全防災・管理ワーキンググループ会議(平成28年12月26日実施)

#### (5) 史跡女塙および市指定史跡遠見山古墳現況図作成事業

平成29年度より予定している2事業(「総社古墳群範囲内容確認調査事業」「史跡女塙保存活用計画策定事業」)の実施に先立ち、史跡の現況を把握するために現況図の作成を行った。

本市指定史跡である遠見山古墳は、平成25年度に公有化後樹木の伐採や除草等環境整備を実施し、史跡の周辺環境が大きく改善しております。平成29年度以降の範囲内容確認調査に先立ち古墳の形状や、周辺地域の状況などを詳細に把握するための現況図の作成を行った。

また、史跡女塙では、平成29~30年度に史跡保護の基本方針である保存活用計画の策定を予定しており、計画策定にあたっては、史跡のみならず周囲の状況を記録した現況図の作成が必要となる。史跡女塙は、本市から伊勢崎市にかけての全長約13kmの長大な農業遺構であるばかりでなく、本市内でも5地区に点在していることから、今年度は市単独事業として荒口町へ東大室町にかけての現況図を作成し、平成29年度は上泉町へ富田町の現況図作成を国庫および県費補助事業として実施予定である。



遠見山古墳現況図

## (6) 檜石保存修理事業

群馬県指定史跡櫛石は、三夜沢赤城神社の北方、赤城山中腹に位置し、古墳時代の巨石祭祀跡として著名な史跡である。櫛石と呼ばれる巨石の周囲では土師器や須恵器、石製模造品などが採集され、古くより祭祀跡として知られている。現在櫛石の周囲は多くの木々で囲まれており、史跡周辺でもたびたび倒木が発生していた。昨年度櫛石周辺で倒木があり、櫛石周囲にめぐらせたネットフェンスが破損しているとの情報があったことから、現地を確認したところ、櫛石南東の樹木1本が根元から倒れている状況を確認した。このため、群馬県文化財保護課や所有者である宗教法人赤城神社と協議したところ、所有者を補助事業者とし、県費および市費補助金を受けて倒木伐採工事を行うこととなった。

事業としては、12月19日に受託業者である赤城南麓森林組合が倒木を伐採、撤去し、翌20日に市文化財保護課により倒木の根元を養生、埋め戻しを行った。

昨年度の現況確認および今回の根元養生の際に、多量の土師器片のほか須恵器片が採集された。また、今回はじめて櫛石周辺の土層堆積状況との遺物の出土層位を確認することができた。



樹木倒壊の状況



倒木撤去、根元埋め戻し後



土層堆積状況



採集遺物



倒木箇所と土層堆積状況

## (7) 指定文化財説明板の整備

説明板・標柱の新設及び書替を行った。

○説明板新設3箇所(稲荷神社笠薬師塔婆・慈照院千手觀音坐像・最善寺普蔵寺供養等)

○説明板書替3箇所(日輪寺十一面觀世音像／寛永の絵馬(写真のみ)・勝城跡・上川渕公民館

周辺の文化財めぐり(春日中学校美術部作成)

## (8) その他史跡に関する保存修理事業

① 国指定重要文化財 阿久沢家住宅の標柱が破損したため、改修工事を行った。

② 市指定重要文化財 カロウト山古墳石棺東側のフェンス基礎破損のため、補修工事を行った。

## (9) 群馬県史跡整備市町村協議会

本市は群馬県史跡整備市町村協議会に加盟しており協議会では史跡の整備や保存活用のため、県内選出の国會議員への予算陳情を実施するほか、担当職員の研鑽のための研修会などを実施している。本市は平成 26~27 年度にかけて会長市として事業を実施してきたが、平成 28 年度総会をもって次期会長市である高崎市に引き継いだ。

### 【主な活動内容】

#### ① 平成 28 年度総会及び研修会

日 時：平成 28 年 7 月 11 日（月）

会 場：富岡市社会教育館

講演会：「史跡における復元建物」

（文化庁記念物課 中井将胤氏）

視 察：富岡製糸場

#### ② 群馬県内文化財担当職員交流会

日 時：平成 28 年 9 月 29 日（木）

会 場：かみつけの里博物館

講演会：築瀬二子塚古墳保存整備について

（安中市文化財保護課 千田茂雄氏）

視 察：史跡築瀬二子塚古墳ほか

#### ③ 全史協臨時大会・史跡等関係予算地元国會議員陳情

日 時：平成 28 年 11 月 17 日（木）

陳情先：群馬県内選出国會議員

参 加：8 市、1 町、県、県東京事務所

## 3 普及事業

### (1) 大室古墳群公開イベント 2016

平成 16 年度に整備事業の完了した大室古墳群を歴史遺産として広く市民に周知し、活用促進を図り、もって文化財の愛護精神の高揚を図ることを目的に本イベントを毎年開催しており、今回で 12 回目となった。

#### ① イベント名称

「大室古墳群公開・普及イベント 2016 大室古墳時代 ☆こうして君は生きて行く！」

② 開催日時：平成 28 年 6 月 12 日（日）

③ 会場：前橋市大室公園内

#### ④ イベント内容

##### ○ オープニングセレモニー

前橋市立荒砥中学校 吹奏楽部による演奏

##### ○ 古墳見学会

市民ボランティア解説員「大室古墳（つか）の語り部」による古墳案内

##### ○ 体験イベント

勾玉づくり、火おこし、土偶づくり、金のはにわストラップづくり、お面づくり、座練り、桑の木クラフト、繭クラフト、古代衣裳

##### ○ 古墳めぐりスタンプラリー

以上の体験イベント等において、延べ約 2,900 人の参加者があった。



### (2) 大室古墳群市民ボランティア解説員（大室古墳の語り部）の活動

市民ボランティア解説員の会「大室 古墳（つか）の語り部」は、一般市民の視点に立った文化財・史跡の普及活用を目指し発足し、11 年が経過した。

市民ボランティア解説員は長らく、発足当時の 8 名であったが、今年度は新たに 2 名加入して、現在活動中の市民ボランティア解説員は、10 名となった。ほとんどが地元在住で、地元にまつわるエピソードなども盛り込みながら案内・解説を行っている。

春から秋にかけての定例説明会の他、団体や個人から見学依頼を受けて大室古墳群の案内を行っている。他に大室イベントや大室古墳の教室への協力など幅広く活動している。定例説明会は、「広報まえばし」や市ホームページでの広報も行い、市民に活動をアピールしている。

また、年度末には総会を開催し、翌年度の総括と来年度に向けての活動計画を検討した。さらに、野外研修として、市外の史跡や解説団体（施設）を見学し資質向上に努めている。

① 定例活動（古墳案内等）

（5月～11月の主に第1土曜日）

9時30分から11時頃まで受付、民家園を集合・出発場所として開催。希望者が集まり次第、人数に応じてグループに分けするなど随時案内。一週間程度。見学者 計 19名

② 学校・一般団体等の案内

随時受け付け。11団体へ実施。

見学者 計 372名

③ 研修会

市観光ボランティア会の研修のほか、会員で史跡や歴史施設の見学・研修を行っている。

本年度は、上野三碑（金井沢碑、山上碑、多胡碑）と多胡碑記念館、吉井郷土資料館を訪れ、史跡や案内の手法について学んだ。



金井沢碑での見学風景

### （3）第44回前橋市郷土芸能大会

① 日 時 平成28年10月22日（土）  
10月23日（日）

② 会 場 前橋公園野外ステージ

③ 内 容

毎年開催している郷土芸能の公演。今年度は文化庁選定保存技術公開事業「日本の技体験フェア」との同時開催となり、当該フェアの主会場となるヤマダグリーンドーム前橋に隣接する前橋公園野外ステージを会場として、2日間で実施することとなった。また、日程

も例年より一ヶ月早い開催となった。

市内からは4つの団体と、近隣市町村から招待した1団体に出場いただき、計8団体で公演を行った。

近隣市町村からの招待は、団体同士の交流と 研鑽を目的に始められ恒例となっているが、今回は北群馬郡棟東村より「棟東村南新井獅子舞」に出演いただいた。

もう一つの恒例となっている抽選会も実施した。これは余興的な催しである一方、よりも多くの方に来場いただき、最後の公演まで場内の活気を維持するねらいで実施しており、市内19の企業・団体からご協賛を頂き、盛大に開催することができた。抽選会も大会に合わせて、2日間実施した。

さらに、マスコミ各社の後援協力を頂き、市関係施設等にチラシの配架依頼を行うなど、広報活動も積極的に行なった。（延べ1,060名入場）

今回は「日本の技体験フェア」「臨江閣工事見学会」と同時開催であったため、若い世代の集客もあり例年以上の効果があった。

郷土芸能の名称	保 存 会 名	所 在 地
二之宮の式三番叟	二之宮町無形文化財保存会	二之宮町
大前田諏訪神社獅子舞	大前田諏訪神社獅子舞保存会	大前田町
棟東村南新井獅子舞	南新井獅子舞保存会	北群馬郡棟東村
上青梨子盆踊り	上青梨子盆踊り保存会	上青梨子町
片貝神社太々神楽	片貝神社太々神楽保存会	東片貝町
前橋市木遣り・藤振り	前橋市伝統文化保存会「華幹会」	東片貝町
総社神社太々神楽	総社神社太々神楽	元総社町



第44回 前橋市郷土芸能大会

#### (4) 文化庁日本の技体験フェア

10月22日(土)、23日(日)の2日間、ヤマダグリーンドーム前橋サブイベントエリアで開催され、金箔伝統技術保存団体ほか31の保存団体による技のパネル展示・演演・体験を実施。隣接の前橋公園会場では第44回前橋市郷土芸能大会や勾玉作りなどのワークショップを、臨江閣では改修工事見学会が行われた。参加者数は22日が2,466名、23日が3,014名であった。



#### (5) 前橋・高崎連携文化財展

前橋・高崎連携文化活用事業として、毎年実施している文化財展「東国千年の都」を本年度も開催。

##### ① 展示テーマ

東国千年の都 10周年記念展示

『いまなお ひかり放ちて』

今回は、当該文化財展10周年記念として開催し、前橋市と高崎市が保有するアピール性の高い遺物を中心に展示を行った。

##### ② 期日・会場

・ 前橋会場 平成29年1月6日～11日  
前橋プラザ元気21 1階にぎわいホール

・ 高崎会場 平成29年1月14日～23日  
高崎シティギャラリー 2階 第6展示室

##### ③ 開催結果

来場者数 3,717人 (前橋会場 2,556人)



展示説明会

#### (5) 普及啓発

##### ① 文化財探訪

この事業は、前橋市内にある文化財や施設の見学を通じて、市民の方々の生涯学習に役立て、文化財の意義・保護管理の大切さの理解を深めることを目的に、平成15年度より開始してきた。

平成28年度は、12月に大胡地区を中心訪問した。二宮赤城神社、大胡城跡等全5箇所をめぐり、地元を知ることができる貴重な体験することができた。

日 時 12月17日(土)

9時～13時

参加者 17名

コース 二宮赤城神社 → 大胡城跡 → 養林寺  
→ 大胡神社 → 上泉郷蔵



大胡神社での見学風景

##### ② 臨江閣保存整備事業建築工事見学会

足場が設置されている期間に工事見学会を計4日間開催し、合計377人が参加した。

##### (第1回)

開催日 平成28年7月16日

参加人数 114人 (4回実施/日)

##### (第2回)

開催日 平成28年10月22日

参加人数 87人 (5回実施/日)

##### (第3回)

開催日 平成28年10月23日

参加人数 79人 (5回実施/日)

##### (第4回)

開催日 平成29年1月28日

参加人数 97人 (4回実施/日)

### ③ 出張授業・出前講座

- 出張授業「おもしろ文化財教室」

「おもしろ文化財教室」は、小中学校の社会科や総合的な学習の時間などにおいて、本課職員が講師として学校や教育施設へ訪問し、授業を行うものである。担当教諭と事前打ち合わせを行い、授業のねらいや留意点などを確認し、児童・生徒たちにとって充実感や達成感のある授業をめざし実施した。今年度は、小学校のみであったが、15校 1,036名を指導した。

### 《実施概要一覧》

実施日	学校名	学年	実施内容（実施場所）
4/22	桃井小	6年	古墳解説（総社古墳群）
5/26	元総社	南小 6年	古墳解説（大室古墳群）
6/16	細井小	6年	埴輪づくり
6/29・30	荒牧小	5年	勾玉づくり
7/14	敷島小	6年	臨江閣見学
7/19	岩神小	6年	縄文土器つくり
10/14	桃瀬小	3年	昔の道具・くらし (柏川歴史民俗資料館)
1/27	大胡小	3年	昔の道具・くらし (柏川歴史民俗資料館)
2/2	大胡東小	3年	昔の道具・くらし (柏川歴史民俗資料館)
2/3	滝窪小	3年	昔の道具・くらし (柏川歴史民俗資料館)
2/8	新里中央小	3年	昔の道具・くらし (柏川歴史民俗資料館)
2/9	柏川小	3年	昔の道具・くらし (柏川歴史民俗資料館)
2/14	朝倉小	6年	空襲講話（原田先生）
2/15	月田小	3年	昔の道具・くらし (柏川歴史民俗資料館)
2/21	城南小	3年	郷土芸能（八幡宮おはやし・水神宮裸みこし）

### ○ 出前講座（生涯学習課事業）

今年度の実施状況は以下の通り。

- 「明治のイギリス外交により見出された大室古墳群」  
1 団体
- 「古代の東国に咲いた華 山王廃寺」  
1 団体
- 解明！古代前橋の中心「推定上野国府跡」  
実績なし
- 「文化財のあらましと保護行政について」  
実績なし

なお、その他「公民館連携事業」に関連するものとして、「のびゆくこどもつどい」や地区的文化祭への講師派遣依頼が4件あり実施した。

### ④ 職場体験学習

今年度も、2件の依頼があった。中学校1校、高校1校の依頼を受け入れた。実施概要は以下の通り。

- 9/6・7・8

桂萱中学校

第2学年 3名

- 10/18・19・20・21

群馬県立前橋商業高等学校

第1学年 4名

### ⑤ 文化財資料の貸出

資料提供依頼による主な写真資料の貸し出しは以下のとおり。

貸し出し資料 (収蔵記念館 写真データ)	貸し出し先 (株)群馬銀行
岩神の飛石	(一財)群馬経済研究所
天川二子山古墳 写真データ	
「松平明矩」人物画像 写真データ	毎日放送
「松平直基公肖像画 写真データ	大野市博物館
酒井重忠絵図 松平朝矩絵図 写真データ	㈱ボックスタートル
臨江閣 写真データ	㈱アンカラードジャパン
前橋藩松平家軍配 写真データ	白河市歴史民俗資料館

### ⑥ 文化財めぐりパンフレット

作成後10年以上経過した文化財めぐりパンフレットに関して、観光面での利用増加を目指して、リニューアルを行う。

平成26年度にイラストレーターの芦村早苗さんを起用して中央・南橋版の原稿を作成し、平成27年度に残り9地区分の原稿作成依頼をした。平成28年度は総社・清里地区、富士見地区、宮城地区の印刷を行った。

## (6) 大室古墳の教室事業

### 1 事業名称

地域の特色ある埋蔵文化財活用事業  
「大室古墳の教室」

### 2 目的

大室古墳群史跡整備事業による古墳の整備は完了したが、当初計画されていた資料館の建設は実現していない。については「大室古墳の教室」における体験学習や考古学講座、展示場の開設などをとおして、市内の埋蔵文化財の活用を図り本市の古代文化を紹介するとともに、郷土に対する愛情を育むことを目的とする。

### 3 事業費

3,600,000 円（50%国庫補助対象）

### 4 開催した普及事業

#### (1) 小学生夏休み森の考古学教室

期間：平成 28 年 7 月 21 日（木）から 8 月 12 日（金）までの毎週木・金曜日  
時間：午前 9 時から午前 12 時まで  
講師：文化財保護課職員  
会場：大室公園管理事務所ホール



図 1 小学生夏休み森の考古学教室・鏡づくり

#### 第 1 回 土偶をつくろう 1

平成 28 年 7 月 21 日（木）14 名

#### 第 2 回 土偶をつくろう 2

平成 28 年 7 月 22 日（金）9 名

#### 第 3 回 塙輪をつくろう 1

平成 28 年 7 月 28 日（木）17 名

#### 第 4 回 塙輪をつくろう 2

平成 28 年 7 月 29 日（金）20 名

#### 第 5 回 勾玉をつくろう 1

平成 28 年 8 月 4 日（木）18 名

#### 第 6 回 勾玉をつくろう 2

平成 28 年 8 月 5 日（金）19 名

#### 第 7 回 鏡をつくろう 1

平成 28 年 8 月 11 日（木）18 名

#### 第 8 回 鏡をつくろう 2

平成 28 年 8 月 12 日（金）23 名

#### ○小学生作成の埴輪と土偶の焼成

平成 28 年 8 月 18 日（木）一心窯の穴窯焼成  
平成 28 年 8 月 23 日（火）一心窯の窯出し

#### ○作品引渡

平成 28 年 8 月 25 日（木）・8 月 26 日（金）

### (2) 講座・赤城山南麓の考古学 2016

#### 「赤城山南麓の古代を学ぶ」

期間：8 月 27 日（土）～10 月 1 日（土）の毎週土曜日

時間：午前 9 時半から午前 11 時半まで

会場：大室公園民家園



図 2 講座・赤城山南麓の考古学 2016

#### 第 1 回 赤城山南麓の旧石器時代

##### 「シベリアを旅した石器」

講師：石田典子氏（群馬県立博物館）

平成 28 年 8 月 27 日、参加 26 名

#### 第 2 回 赤城山南麓の縄文時代

##### 「縄文の美・赤城山麓の縄文中期世界」

講師：山口逸弘氏（公益財團法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団）

平成 28 年 9 月 3 日 参加 29 名

#### 第 3 回 赤城山南麓の古墳時代

##### 「前二子古墳の馬具をめぐって」

講師：内山敏行氏（公益財團法人 とちぎ未来づくり財團 栃木県埋蔵文化財センター）

平成 28 年 9 月 10 日 参加 36 名

#### 第4回 現地見学

「赤城山南麓の古墳めぐりバス・ツアーワーク」

講師：深澤敦仁氏（群馬県立歴史博物館）

平成28年9月17日（土）

午前9時から午後3時半まで 参加21名



図3 講座・赤城山南麓の考古学 2016・古墳見学

#### 第5回 赤城山南麓の古代1

「赤城山南麓を襲った平安時代の巨大地震」

講師：加部二生氏（桐生市教育委員会）

平成28年9月24日 参加23名

#### 第6回 赤城山南麓の古代2

「勢多郡と佐位郡ができる頃の赤城山南麓」

講師：永井智教氏（日本考古学協会会員）

平成28年10月1日 参加29名

#### (3) 匠の教室



図4 匠の教室・動物埴輪をつくる

#### 第1回 動物埴輪をつくる

会場：大室民家園主屋・離れ

講師：石井政幸氏（一心窯主宰）

期間：平成28年10月13日（木）から

10月18日（火）まで

時間：午前9時から午後4時まで

参加者数：19名 延べ人数：94名

#### 第2回 繩文土偶をつくる

会場：大室民家園主屋・離れ

講師：石井政幸氏（一心窯主宰）

期間：平成28年10月27日（木）から

10月31日（月）まで

時間：午前9時から午後4時まで

参加者数：11名 延べ人数：45名



図5 匠の教室・縄文土偶をつくる

#### 第3回 剣菱形杏葉をつくる

会場：前橋市総社歴史資料館体験学習室

講師：杉山秀宏氏（公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団）

日時：平成28年11月25日（金）

時間：午前9時から午後4時まで

参加者数：11名

#### 第4回 山王廃寺の塑像をつくる

会場：大室民家園主屋・離れ

講師：桜岡正信氏（公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団）

開催日時：平成28年11月3・5・12・19・26日

時間：午前9時から午後4時まで

参加者数：14名 延べ人数：60名

#### 第5回 山王廃寺の古代文様タイルをつくる

会場：前橋市総社歴史資料館体験学習室

講師：永井智教氏（日本考古学協会会員）

日時：平成28年12月10日（土）・11日（日）

時間：午前9時から午後4時まで

参加者数：40名 延べ人数：52名

#### 第6回 動物埴輪窯詰め

指導：石井政幸氏（一心窯主宰）

会場：鼻毛石町一心窯

日時：平成28年11月29日（金）

午前9時～午後12時

参加者数：4名

### 第7回 動物埴輪焼成と縄文土偶窯焼き

指導：石井政幸氏（一心窯主宰）

会場：鼻毛石町一心窯

日時：平成28年12月3日（土）

午前9時～午後4時

参加者数：11名

### 第8回 動物埴輪窯出し・窯詰め

指導：石井政幸氏（一心窯主宰）

会場：鼻毛石町一心窯

日時：平成28年12月12日（月）

午前9時～午後2時

参加者数：7名

### 第9回 動物埴輪第2回焼成

指導：石井政幸氏（一心窯主宰）

会場：鼻毛石町一心窯

日時：平成28年12月13日（火）

午前8時～午後6時

参加者数：3名

### 第10回 動物埴輪第2回窯出し

指導：石井政幸氏（一心窯主宰）

会場：鼻毛石町一心窯

開催日時：平成28年12月17日（土）

午前9時～午後2時

参加者数：11名

### （4）制作品完成記念考古学講演会



図6 制作品完成記念考古学講演会・三浦茂三郎氏

日時：平成29年2月4日（土）

午後2時から午後4時まで

演題：「盾持人埴輪の世界

～群馬県出土の埴輪を中心に」

講師：三浦 茂三郎氏（高崎市親音塚考古資料館）

会場：前橋市総合福祉社会館多目的ホール

聴講者：155名

### （5）大室はにわ館の展示

開設年月日：平成26年11月3日

場所：西大室町2510 大室公園民家園土蔵

面積：1階24m<sup>2</sup>・2階24m<sup>2</sup> 合計48m<sup>2</sup>

開館：4月～12月 木曜日から日曜日・祝日

1月～3月 土・日曜日・祝日

年末年始は休館

時間：午前9時～午後4時

展示資料

①大室古墳群・内堀遺跡群出土品。旧石器・縄文・古墳時代の遺物・埴輪など

②前二子古墳石室復元市民プロジェクトの市民ボランティア制作品。埴輪・馬具・玉・鏡・須恵器・冠など

③韓国慶州民俗村新羅窯の新羅焼き。高杯・壺・装飾土器など

④東京福祉大学柴田研究室制作学習教材。「3D映像でみる大室古墳群」。

⑥お面をつくる・土偶をつくる・縄文文様体験しようコーナー

⑦大室古墳群模型

⑧入館者数：平成28年度 8000人

### （6）総社資料館での展示



図7 総社資料館で匠の教室制作品展示

会場：前橋市総社歴史資料館

展覧会名：匠の教室企画展「埴輪の動物園」

関東と関西の動物埴輪たち

会期：平成29年2月18日（土）から

4月9日（日）まで

内容：「匠の教室」で制作した関東と関西の動物埴輪20点の展示

### （7）ボランティア活動

第1回 民家園主屋障子張り替え

平成28年9月2日（金）参加者：9名

第2回 匠の教室埴輪づくり会場準備

平成28年10月7日（金）

場所 民家園 主屋・離れ 参加者：4名

- 第3回 会場撤去・土偶づくり会場準備  
平成28年10月21日(金) 参加者:5名
- 第4回 塑像づくり会場準備  
平成28年11月1日(火)  
場所:総社歴史資料館 参加者:6名
- 第5回 「匠の教室」埴輪窯詰め  
平成28年11月29日(火)  
場所:鼻毛石町一心窯 参加者:4名
- 第6回 匠の教室埴輪・土偶焼成  
平成28年12月3日(土)  
場所:鼻毛石町一心窯 参加者:14名



図8 大室古墳の教室ボランティアのみなさん

- 第7回 匠の教室埴輪窯出し  
平成28年12月12日(月)  
場所:鼻毛石町一心窯 参加者:18名
- 第8回 匠の教室埴輪窯出し  
平成28年12月17日(土)  
場所:鼻毛石町一心窯 参加者:3名
- 第9回 考古学講演会準備・撤去  
平成29年2月4日(土)  
場所:日吉町総合福祉社会館 参加者:8名
- 第10回 藤棚藤の剪定  
平成29年3月16日(木)  
場所:大室公園古墳の藤棚 参加者:5名
- 第11回 制作埴輪の屋外設置  
平成29年4月22日(火)  
場所:総社歴史資料館芝生広場 参加者:5名

- (8) 制作動物埴輪の屋外設置  
平成29年4月22日(火)  
場所:総社歴史資料館芝生広場  
展示数:6点
- ① 馬形埴輪(天理市荒蒔古墳)
  - ② 犬形埴輪(樅原市四条古墳)
  - ③ 猪形埴輪(樅原市四条古墳)
  - ④ 鹿形埴輪(樅原市四条古墳)
  - ⑤ 犬形埴輪(伊勢崎市上武士天神山古墳)

#### (9) 後二子古墳石室模型の製作委託



図9 後二子古墳の石室模型

期間:平成28年7月20日から  
平成28年10月15日まで  
内容:後二子古墳石室模型を縮尺1/15で製作。  
文化財保護課総社ギャラリーに展示。

#### (10) 印刷物の刊行

- ① 大室古墳群パンフ A4判 20頁 2000部
- ② 赤城山南麓の旧石器パンフ 16頁 2000部
- ③ 赤城山南麓の縄文時代 part1 16頁 2000部
- ④ 赤城山南麓の縄文時代 part2 16頁 2000部
- ⑤ 赤城山南麓の古墳パンフ A4判 16頁 2000部
- ⑥ 総社古墳群パンフ A4判 16頁 2000部
- ⑦ 赤城山南麓の中世・女塼A4判 16頁 2000部
- ⑧ 朝倉・広瀬古墳群パンフ A4判 16頁 2000部
- ⑨ 「考古学講演会・講座の記録2」 A4判 144頁 400部

#### 5 来年度に向けて

平成26年から平成28年までの3か年にわたって大室はにわ館と藤棚などを整備することができた。

これまで夏の小学生を対象とした考古学体験教室は大室公園管理事務所ホールで開催したが、今後は新設の総社歴史資料館が体験学習室を備えていることから積極的に利用していきたい。

本年度、新規に実施して好評を博した「古代文様タイルづくり」の回数を増やすほか、来年度は、本市の埋蔵文化財を積極的に活用しながら、より楽しく学べるよう充実を図りたい。

## (5) 里山学校

平成28年度の教育委員会重点事業の1つである赤城山ろく里山学校（宮城地区）において、国指定重要文化財阿久沢家住宅を活用し、昔の暮らしを宮城小学校の児童を対象とし、体験学習を実施した。地域の自然や文化を感じながら、1泊2日の宿泊体験と半日体験（いもほり・なわない）の2回を実施した。

### 1 宿泊体験

開催日時

平成28年8月20日（土）13:30～  
21日（日）13:00

参加人数 13名

活動内容

8月20日（土）  
閉校式  
火おこし  
かまどで炊飯・味噌汁作り  
夕食  
昔話  
肝だめし（ナイトウォーク）  
グループ発表会  
就寝

8月21日（日）  
起床  
朝食  
収穫体験（とうもろこし・えだまめ）  
すいか割り  
試食（とうもろこし・えだまめ）  
そばうち体験  
昼食（そば試食）  
閉校式



地域に伝わる昔話を聞く



夜の阿久沢家

### 2 いもほり・なわない体験（半日）

開催日時

平成28年11月19日（土）  
10:00～12:30

参加人数 16人



さつまいもほり



かまどでの炊飯体験



なわない体験

#### (6) 臨江閣整備活用事業

##### (赤城山水図複製制作)

臨江閣創建時から保管されている小室翠雲作の絵図（軸物）現物を長い期間にわたり公開展示することは、作品を傷めてしまうなど保存管理上困難なことから、東日本鉄道文化財団の文化事業支援金を使用した事業として小室翠雲作「赤城山水図」の複製を制作した。

#### (7) 文化財修復補助等

前橋市郷土芸能連絡協議会補助金、文化財保存事業補助金（今井神社古墳樹木伐採・元景寺秋元氏墓地保存・荒砥史談会標柱設置）を交付した。今井神社古墳については、ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業も活用した。



秋元氏墓地

#### (8) 文化財調査事業

##### ① 岩神の堤断面測量及び平面図作成

##### 【調査主旨】

江戸時代後期に、安井与左衛門により構築された可能性がある「岩神の堤」の範囲確認と堤防の断面測量等を行い、近代前橋の構築に重要な役割をはたしたと思われる遺構の姿を明らかにするため本測量調査を実施した。平成 27 年度に堤の上流部の測量調査を行い、平成 28 年度は下流部の測量調査を行った。

【所在地】 前橋市岩神町地内 ほか  
※グリーンドーム南側

【物件所有者】 前橋市

【調査委託先】 技研コンサル株式会社

【委託調査期間】 平成 29 年 2 月 13 日～  
平成 29 年 3 月 24 日

##### ② 前橋の蚕糸業に係る歴史的建造物等調査

##### 【調査概要】

前橋市の蚕糸業にかかる歴史上重要な遺構及び文献を調査し、市域における蚕糸業の重要性

を再評価するために昨年度から実施されている調査事業である。

今年度は、5 カ年計画の 3 年次として「旧塩原蚕種主屋及び敷地内建造物等調査事業報告書作成業務」と蚕糸業に係る調査委員（文書部会：石井顧問・西川委員・岡田委員（宮崎委員は 1 年間休養））による建造物調査を実施した。

【実施期間】 平成 28 年 4 月 1 日～

平成 29 年 3 月 31 日

##### 【委託業者等】

報告書作成（有）ウッドサークル

##### 【構成員】

石井寛治顧問（東大名誉教授）

大野敏委員（横浜国立大学教授）

岡田昭二委員（群馬県立文書館嘱託）

西川武臣委員（横浜開港資料館副館長）

官崎俊弥委員（元前橋国際大学教授）

（宮崎委員は 1 年間休養）

村田敬一委員（県文化財保護審議会専門員）

【調査計画】（※本年度は五年計画の 3 年次）

本調査は 5 カ年計画での実施を目標に、以下一覧表を目安に進めていきたい。

計画年次	調査	内容
1年次	事前調査	委嘱式及び現地視察（塩原蚕種）
2・3年次	「蚕糸業遺構調査（塩原蚕種建造物調査）」	・建造物調査 ・建造物に関係する部分の報告書作成
	「関連文献調査」	・塩原蚕種にかかる文献調査
	「聞き取り調査」	・塩原蚕種所有者及び関係者を対象に物件の歴史や活用状況、活動範囲等について詳細な聞き取りを行う。
検討・計画		・調査成果から歴史的な価値付け等、整理、検討。 ・次年次の調査活動の計画について検証 ・計画の再構成等

4年次	蚕糸業に係る調査	市内に残る蚕糸業に係る遺構関係調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の蚕糸業関連遺構の全体把握</li> <li>・蚕糸業関連遺構絞込みと詳細調査等</li> </ul>
		市内蚕糸業にかかる文献調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人及び区有、公的機関等に収蔵されている関係資料の調査、収集を実施する。</li> <li>・調査物件の過去の資料、既往の研究等から調査物件の歴史的意義や価値、変遷過程に関する調査等</li> </ul>
		検討・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査成果から歴史的な価値付け等、整理、検討。</li> <li>・次年次の調査活動の計画について検証</li> <li>・計画の再構成 等</li> </ul>
5年次	報告書作成	報告書作成に向けた補足調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書作成に当たって、必要に応じ、隨時補足調査を行い、調査内容の充実を図る。</li> </ul>
		報告書作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4カ年にわたって実施した調査内容を報告書として編集する。</li> <li>・調査票、野帳などを取りまとめものを、専門部会及び委員会により精査し、報告書の内容を確認していく。</li> </ul>

# 第4章 埋蔵文化財事業

## 1 埋蔵文化財発掘調査事業

### (1) 平成28年度の発掘調査をふりかえって

#### <1> 発掘調査事業

今年度は、平成28年度埋蔵文化財発掘調査一覧表に示したとおり12件の発掘調査を実施した。調査目的・原因別内訳は保存目的の範囲・内容確認調査1件以外は、すべて開発事業に伴う記録保存を目的とした調査である。このうち公共開発が7件、民間開発が4件である。記録保存目的の調査では公共開発に伴う1遺跡9地点の発掘調査と民間開発に伴う1遺跡を直営で実施し、他はすべて民間調査組織への委託により調査を実施した。

総発掘調査面積は21,928m<sup>2</sup>で、うち保存目的の調査が422m<sup>2</sup>、公共開発に伴う調査が13,830m<sup>2</sup>、民間開発に伴う調査が7,676m<sup>2</sup>であった。また、直営で行った調査は3,112m<sup>2</sup>、官民委託は10,818m<sup>2</sup>、民民委託は7,576m<sup>2</sup>であった。

近年の数字を振り返ってみると、総調査面積は約7,000m<sup>2</sup>～50,000m<sup>2</sup>と幅があり、毎年に開発事業にバラつきが認められる。これに対し直営による発掘調査面積は約3,000m<sup>2</sup>～4,000m<sup>2</sup>とほぼ横這いであり、これを超える分について民間委託により調査を実施している状況である。民間委託による発掘調査は、公共開発では赤城南麓地域における工業団地造成に伴う調査を、また民間開発では南部拠点地域や川曲地内の前橋台地上の水田地帯において大型店舗等の建設に伴う調査を、年に約2,000～10,000m<sup>2</sup>と面積の多寡はあるが、大規模開発事業に伴って実施している。

以下に主な調査について概述する。

#### ①上野国府等範囲・内容確認調査

第2期5ヶ年計画の初年度にあたる今年度は、5地点で6個所のトレンチを設定し、国府関連遺構の検出に努めた。その結果、上野国府の中心施設ではないが、今年度も国府関連遺構を検出することができた。

関越自動車道西側の推定東山道駅跡国府ルートの想定ライン上に設定した45トレンチでは、両側側溝を有する道路状遺構を検出した。規模・形状ともに古代の官道とするにふさわしい内容を有しており、元総社地内に想定されている上野国府へ向かう東山道駅跡が存在した蓋然性が高まった。また、道路状遺構は少なくとも3回以上の拡幅あるいは修築の痕跡が認められ、上限は確定できないものの、ある程度存続年代に幅があった

ことも想定できた。

元総社小学校校庭内に設定した48トレンチでは、昨年度再調査を行った昭和30年代の群馬大学調査の大型掘立柱建物跡と全く同規模の掘立柱建物跡を検出した。群大調査の建物跡に極く近接して、軸を同じくするが1間分北にずれた位置にあるため、同じ機能を持った建物の建て替えが想定できる。また近接あるいは重複して小規模な掘立柱建物跡が複数検出でき、元総社小学校付近では、複数の掘立柱建物が繰り返し建て替えられた区域であることが分かった。

また、足門線北側では、元総社蒼海遺跡群(95)で検出した古代の大溝の延長上に47トレンチを設定し、同溝の続きを検出することができた。その結果、同溝が上野国府城内の区画施設であった可能性が高まつたと言えよう。

上野国府等範囲・内容確認調査では、ここ数年国府関連遺構の検出が続いており、上野国府を推定する材料が徐々に蓄積されつつある。

#### ②元総社蒼海遺跡群

##### (116)・(121)～(124)・(93街区)

元総社蒼海土地区画整理事業に伴う元総社蒼海遺跡群の発掘調査は、今年度は6件の調査を実施し、うち直営が1件3,012m<sup>2</sup>、委託が5件5,399m<sup>2</sup>であった。

蒼海(122)は直営による調査で、1～9区までの9調査区の調査を実施した。1区、2区、6区、7区、9区は元総社蒼海遺跡群南西寄りに位置する。1・2区は古墳時代から平安時代の堅穴住居が密度濃く分布するが、集落の主体は1区で8～10世紀、2区で9～10世紀特に10世紀の住居が多い。1区の10世紀前半の焼失住居床面から鉄製馬具(轡)が出土しており、時期決定ができる貴重な資料である。

3区は平成26年度に建物の基礎地業跡を検出した蒼海(99)の南東にあたり、基礎地業跡が検出できたため、(99)で検出した総地業の南限をほぼ確定することができた。

8区は御雲神社北側の土星の調査で土星北側と東側の堀の立ち上がりも検出できた。また土星西端寄りでは北西方向の溝を埋め戻して土星が構築されたことも確認した。

蒼海(116)・(123)は調査区を接し元総社蒼海遺跡群北西寄りに位置する。区画整理事業による宅地造成に伴う調査で、縄文時代中期後半および古墳～奈良・平安時代の集落跡を検出した。縄文時代では、環状を呈する多数の中期後半（加曾利E III～E IV段階）の堅穴住居が検出された。古代では、(116)で井戸跡から「(那)波郡朝倉」と墨書

された平瓦が出土しており、また(123)では南北方向ほぼ正方位の道路状遺構が見つかっている。

蒼海(121)は元総社蒼海遺跡群中央の高台に位置する。東北東—西南西方向の古代の溝跡が見つかっており、走向を北寄りに変えながら、蒼海(1)や(6)で検出されている溝に連なる可能性がある。同溝はこれまで時期が不確定であったが、今回の調査で7世紀後半から10世紀に絞り込むことができ、上野国府に関連した施設の可能性がある。

蒼海(124)は蒼海域本丸西側に接する堀跡を中心とした調査である。堀跡は断面観察によると複数度の掘り返しが認められ、その結果として幅広の堀跡が残ったものと考えられる。

蒼海(93街区)は上野国分尼寺の130m南に位置する。店舗の建設に伴う調査で、古墳時代—古代の烟跡と8・10世紀代の堅穴住居、中世の堀跡などを検出した。

### ③川曲阿弥陀西遺跡No.3

大型店舗の建設に伴い、現状保存不可能な建物部分5,633m<sup>2</sup>について、平成28年7月から10月にかけて調査を行った。浅間B軽石によって埋没した水田面と畦畔が検出され、周辺遺跡で確認されている浅間B軽石下の条里地割りとも整合的である。

また、本遺跡から南約400mにある川曲地蔵前遺跡No.3で確認された浅間B軽石下水田に先行する「川曲大溝」の続きも本遺跡内で確認することができた。現在整理作業中であり、周辺も含めての詳細な考察が期待できる。

### ④朝倉伊勢西No.3遺跡

大型店舗建設に伴い、建物部分のうち試掘調査で遺構が確認された範囲の1,200m<sup>2</sup>について、平成28年9月から11月にかけて調査を実施した。9世紀から10世紀までの堅穴住居跡が密度高く分布しており、ほかに土坑、井戸跡、溝跡等を検出している。

本遺跡は朝倉・広瀬古墳群のある台地南方に接する低位面に位置し、広瀬川低地帯から引水したと考えられる1号女溝・2号女溝が前橋台地に至り、東西にハの字状に広がり始める屈曲点あたる。いわば前橋台地を潤す灌漑の起点となる位置といえる。本遺跡および本遺跡南に隣接する朝倉伊勢西No.1・2遺跡は9世紀を主体とする集落であり、しかも住居が密度濃く分布することから平安時代初期に始まる本地域の拠点的な集落であった可能性が考えられる。

前橋台地における条里水田の形成は、8世紀半ばまで遡る可能性があるものの、本格的經營は9世

紀に始まると考えられている。この時期に集落が始まる朝倉伊勢西遺跡は、前橋台地の条里水田開発という役割を担って形成された集落であったと想定される。

### ⑤五代東田遺跡

五代南部工業団地の拡張に伴い、現工業団地西側の谷地部分の調査で、試掘調査により浅間B軽石の堆積を確認した部分を中心とする2,030m<sup>2</sup>について、平成28年6月から7月始めにかけて調査を実施した。その結果、近年の土地改良により大きく破壊されてはいたが、1～4区の調査区から浅間B軽石下の水田面とそれに付属する畦畔・用水路等を検出した。これまで赤城南麓地域で谷筋の低地部分の調査は殆ど行われていなかつたが、今回の調査によって谷地を利用した平安時代の土地利用形態の一端をうかがうことができた。今後も同地域における谷底低地については注意を払う必要がある。

### ⑥五代伊勢宮VII遺跡

五代南部工業団地の拡張に伴い、五代東田遺跡東側の台地上の3,750m<sup>2</sup>について、平成28年8月から10月にかけて調査を実施し、縄文および弥生時代の土坑、古墳時代の堅穴住居跡、方形周溝墓、掘立柱建物跡、平安時代の堅穴住居、浅間B軽石降下以降の堅穴住居跡等を検出した。

縄文時代では中期加曾利EⅣ～EⅤ段階の土坑を検出したが、相対的に遺物量は少ない。しかし出土した土器を見ると早期後半、前期中葉から後葉および前期末、後期初頭および前半とバラエティーが認められる。

弥生時代と考えられる遺構は、覆土上位に浅間C軽石の純堆積層が認められる平面橢円形で約2mとかなり深い土坑を3基検出した。ほぼ等間隔で直線状に並び、一見陥落穴に見えるがその性格についてはなお一考を要す。

古墳時代では前期の堅穴住居跡4軒、方形周溝墓2基、掘立柱建物跡2基等を検出し、また6・7世紀の堅穴住居跡3軒を検出している。

古代では平安時代9世紀の堅穴住居跡1軒と10世紀の土坑1基を検出した。特筆すべきは、浅間B軽石降下遺構と考えられる堅穴住居を6軒検出しており、柱穴の位置や形骸化したカマドなど、中世の堅穴状遺構への移行形態がうかがわれる。五代伊勢宮VII遺跡は年代幅や多様な遺構が認められるに関わらず、各時代の集落規模は小さい。台地の縁辺部にあたることもその要因の一つと考えられるが、今後の整理を俟って検討すべき課題である。なお、南に隣接する五代伊勢宮VIIは

現在調査継続中であるが、ほぼ同様な傾向が認められる。

#### <2>台帳整備事業

平成28年度の台帳整備事業は、まず昨年度下半期に実施した本発掘調査および試掘調査実施箇所のデータを9月までに、また本年度上半期のデータは2月までに遺跡地図に加筆した。また、過去5年間の試掘調査実施箇所のうち遺跡地図未記入分について、改めてデータを整理し前橋市遺跡分布地図への書き込みを行った。なお、包蔵地の範囲変更が生じた場合は、随時、県の情報システム上に反映されるよう、データの改訂を申請している。

#### <3>資料整備事業

**普及関係** 小学校高学年児童を対象とした埋蔵文化財普及パンフレット『い・せ・きワールドin前橋 2017』を刊行し、市内小学校に配布した他、一般用として公民館等の公共施設にも配布した。

埋蔵文化財発掘調査現地説明会は、元総社小学校校庭内における上野国府範囲内容確認調査現地説明会を、平成28年8月27日(土)に一般市民を対象に、また8月29日(月)に元総社小児童を対象に実施した。

埋蔵文化財資料の展示については、前橋・高崎連携文化財展における展示のほか、市内公民館および小学校、けやきウォーク、サンデンフォレストにおいて出土資料の貸出しや展示替えを行った。さらに、昨年度から実施している鳥羽収蔵庫展を平成28年11月20日(日)に開催し、主に平成27年度中の元総社蒼海遺跡群発掘調査成果を中心として展示公開した。

**資料整備** 昨年度引き続き収蔵資料の整理を行い、調査図面・写真資料および報告書等の整理・台帳作成はほぼ終了した。出土遺物については、五代南部工業団地の出土遺物を中心に収蔵整理および台帳作成を行った。来年度以降も、スケジュールを立てて収蔵資料の整理を行い、複数年度に亘るが、将来的に収蔵資料の台帳化を行う予定である。

#### <4>開発に伴う事前協議

本年度中は約2,800件の開発事業に係る埋蔵文化財包蔵地の照会があった。また、文化財保護法第93条第1項の届出は480件を超えた。一昨年度『前橋市遺跡分布地図』情報の公開に伴う周知の埋蔵文化財包蔵地の拡大により、照会・届出件数が一気に増大したが、本年度は昨年度に比べて横這いもしくは微増傾向にあり、相変わらず市内に

おける開発事業の多さを物語っている。

試掘・確認調査実施件数は44件であり、このうち18件で埋蔵文化財の存在を確認した。うち5件件が発掘調査に移行し2件が現在調整中である。その他については、試掘調査結果を受けて計画変更等により現状保存を図った。その他に、各種開発工事中の立会調査を84件実施した。

(2) 平成28年度 埋蔵文化財発掘調査一覧表

	遺跡名	ふりがな	コード	代表地番	面積(m <sup>2</sup> )	方式	調査原因	調査期間
1	上野国府等範囲内容確認調査	こうずけこくふ	28A147	鳥羽町543-1	422	直営	範囲内容確認調査	28/5/27~28/12/21
2	元總社蒼海遺跡群(122)	もとそうじやおうみ	28A227	元總社町1909-1	3,012	直営	区画整理	28/6/6~28/12/22
3	元總社蒼海遺跡群(116)	もとそうじやおうみ	27A210	元總社町1690-1	1,830	委託	区画整理	28/4/11~28/10/6
4	元總社蒼海遺跡群(121)	もとそうじやおうみ	28A226	元總社町1776-1	247	委託	区画整理	28/7/7~28/8/26
5	元總社蒼海遺跡群(123)	もとそうじやおうみ	28A228	元總社町1706	1,606	委託	区画整理	28/10/11~29/3/3
6	元總社蒼海遺跡群(124)	もとそうじやおうみ	28A229	元總社町1906-1	1,355	委託	区画整理	29/1/30~29/3/30
7	元總社蒼海遺跡群(93街区)	もとそうじやおうみ	27A224	元總社町1717	361	委託	店舗建設	28/5/9~28/6/10
8	川曲阿弥陀西遺跡No.3	かわまがりあみだにし	28A225	川曲町197-1	5,633	委託	店舗建設	28/7/4~28/10/12
9	朝倉伊勢西No.3遺跡	あさくらいせにし	28G71	朝倉町143-1	1,582	委託	店舗建設	28/9/1~28/11/8
10	五代東田遺跡	ごだいひがしだ	28C48	五代町967	2,030	委託	工業団地拡張	28/5/17~28/7/15
11	五代伊勢宮Ⅶ遺跡	ごだいいせみや	28C49	五代町948	3,750	委託	工業団地拡張	28/7/15~28/10/26
12	端気下曲輪古墳	はけしもくるわこふん	—	端気町267-8 他	100	直営	集合住宅建設	28/11/22~28/12/9

(3) 平成28年度 埋蔵文化財報告書一覧表

番号	報告書名	遺跡名	発行者	発行年月日	備考
1	推定上野国府～平成27年度調査報告～	上野国府	前橋市教育委員会	H29.3.17	
2	元總社蒼海遺跡群(122)	同左	前橋市教育委員会	H29.3.24	
3	元總社蒼海遺跡群(117)(118)	同左	前橋市教育委員会	H28.11.30	
4	元總社蒼海遺跡群(120)	同左	前橋市教育委員会	H28.9.30	
5	元總社蒼海遺跡群(121)	同左	前橋市教育委員会	H29.3.24	
6	元總社蒼海遺跡群(62)～(64)	同左	前橋市教育委員会	H28.9.30	
7	元總社蒼海遺跡群(74)～(80)・(92)～(94)	同左	前橋市教育委員会	H29.3.24	
8	元總社蒼海遺跡群(93街区)	同左	前橋市教育委員会	H28.12.20	
9	大渡道場遺跡No.2	同左	前橋市教育委員会	H28.10.25	
10	五代東田遺跡	同左	前橋市教育委員会	H29.3.24	
11	川曲阿弥陀西遺跡No.3	同左	前橋市教育委員会	H29.3.25	
12	元總社中学校遺跡	同左	前橋市教育委員会	H28.9.30	
13	川曲地蔵前遺跡No.4	同左	前橋市教育委員会	H28.6.30	

(4) 平成28年度 立会調査一覧表

所在地	開発面積 m <sup>2</sup>	開発原因	調査年月日	調査結果
1 丸町	332	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 4. 4	埋蔵文化財検出なし
2 新堀町	926	古舎建設（合併浄化槽）	H28. 4. 11	埋蔵文化財検出なし
3 富士見町時沢	329	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 4. 12	埋蔵文化財検出なし
4 富士見町時沢	1,237	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 4. 18	埋蔵文化財検出なし
5 後家町	946	宅地造成（下水管埋設）	H28. 4. 19	埋蔵文化財検出なし
6 江木町	350	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 4. 19	埋蔵文化財検出なし
7 二之宮町	1,824	建売住宅建設（合併浄化槽）	H28. 4. 12 ～H28. 4. 22	埋蔵文化財検出なし
8 橋越町	327	個人住宅建設（表層改良）	H28. 4. 30	埋蔵文化財検出なし
9 上泉町		駐車場建設（擁壁）	H28. 5. 2	埋蔵文化財検出なし
10 萩塚町	481	個人住宅建設（基礎工事）	H28. 6. 3	埋蔵文化財検出なし
11 亀里町	984	建売住宅建設（合併浄化槽）	H28. 6. 6	埋蔵文化財検出なし
12 総社町二丁目	708	集合住宅建設（切り土造成）	H28. 6. 6	埋蔵文化財検出なし
13 箕井町	365	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 6. 9	埋蔵文化財検出なし
14 房丸町	592	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 6. 10	埋蔵文化財検出なし
15 河原浜町	378	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 6. 13	埋蔵文化財検出なし
16 総社町四丁目	181	個人住宅建設（基礎工事）	H28. 6. 16	埋蔵文化財検出なし
17 萩塚町	481	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 6. 20	埋蔵文化財検出なし
18 鳥取町	312	建売住宅建設（合併浄化槽）	H28. 6. 23	埋蔵文化財検出なし
19 力丸町	698	個人住宅建設（基礎工事）	H28. 6. 24	埋蔵文化財検出なし
20 亀里町	349	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 6. 27	埋蔵文化財検出なし
21 堀越町	284	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 6. 29	埋蔵文化財検出なし
22 鶴光路町	258	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 7. 4	埋蔵文化財検出なし
23 上細井町	407	個人住宅建設（基礎工事）	H28. 7. 6	埋蔵文化財検出なし
24 朝倉町四丁目	209	個人住宅建設（基礎工事）	H28. 7. 6	埋蔵文化財検出なし
25 稲川町女瀬	331	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 7. 7	埋蔵文化財検出なし
26 六供町		区画整理（下水管埋設）	H28. 7. 11	埋蔵文化財検出なし
27 柏倉町	331	合併建設（切り土造成）	H28. 7. 11	埋蔵文化財検出なし
28 元総社町		区画整理（擁壁）	H28. 7. 12	埋蔵文化財検出なし
29 六供町		区画整理（下水管埋設）	H28. 7. 14	埋蔵文化財検出なし
30 富士見町時沢	275	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 7. 21	埋蔵文化財検出なし
31 堀越町	555	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 7. 25	埋蔵文化財検出なし
32 女屋町	310	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 8. 1	埋蔵文化財検出なし
33 富士見町時沢	336	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 8. 5	埋蔵文化財検出なし
34 元総社町		区画整理（擁壁）	H28. 8. 9 ～H28. 8. 10	溝跡2条
35 西善町	3,647	ガソリンスタンド建設（地下タンク）	H28. 8. 24	埋蔵文化財検出なし
36 稲川町室沢	532	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 8. 25	埋蔵文化財検出なし
37 橋越町	1,322	古舎建設（切り土造成）	H28. 8. 31	埋蔵文化財検出なし
38 川曲町	265	古舎建設（表層改良）	H28. 9. 5	埋蔵文化財検出なし
39 元総社町		区画整理（土手抜き取り）	H28. 9. 5	溝跡2条。瓦片、須恵器片
40 富田町	229	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 9. 13	高台碗
41 後閑町	509	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 9. 16	埋蔵文化財検出なし
42 鶴光路町	258	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 9. 21	埋蔵文化財検出なし
43 横沢町	271	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 9. 26	埋蔵文化財検出なし
44 力丸町	698	個人住宅建設（基礎工事）	H28. 9. 28	埋蔵文化財検出なし
45 二之宮町	353	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 10. 4	埋蔵文化財検出なし
46 鳥取町	744	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 10. 4	埋蔵文化財検出なし
47 元総社町		区画整理（側溝）	H28. 10. 13	埋蔵文化財検出なし
48 徳丸町	421	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 10. 18	埋蔵文化財検出なし
49 下佐鳥町	223	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 10. 20	埋蔵文化財検出なし
50 下新田町	1,925	宅地造成（下水管埋設）	H28. 10. 24	埋蔵文化財検出なし
51 堀越町	1,558	太陽光発電施設建設（切り土造成）	H28. 11. 4	埋蔵文化財検出なし
52 総社町三丁目	610	個人住宅建設（基礎工事）	H28. 11. 10	埋蔵文化財検出なし
53 小坂子町	337	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 11. 10	埋蔵文化財検出なし
54 山王町	256	個人住宅建設（表層改良）	H28. 11. 14	埋蔵文化財検出なし
55 橋越町	281	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 11. 17	埋蔵文化財検出なし
56 上大屋町	393	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 11. 18	埋蔵文化財検出なし
57 富士見町横室	723	集合住宅建設（合併浄化槽）	H28. 11. 28	埋蔵文化財検出なし

58	社町櫛野	616	個人住宅建設（土置換）	H28. 12. 6	埋蔵文化財検出なし
59	下沖町	988	接骨院建設（雨水貯留槽）	H28. 12. 19	埋蔵文化財検出なし
60	力丸町	325	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 12. 19	埋蔵文化財検出なし
61	東片貝町	3,023	有料老人ホーム（エレベーター・ピット）	H28. 12. 19	埋蔵文化財検出なし
62	富士見町原之郷	1,443	霧駅駐車場建設（擁壁）	H28. 12. 20	埋蔵文化財検出なし
63	鼻毛石町	509	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 12. 26	埋蔵文化財検出なし
64	鶴光路町	373	個人住宅建設（合併浄化槽）	H28. 12. 27	埋蔵文化財検出なし
65	元総社町		看板設置	H28. 12. 28	埋蔵文化財検出なし
66	下細井町	2,087	宅地造成（下水管埋設）	H29. 1. 11	埋蔵文化財検出なし
67	鼻毛石町	2,702	太陽光発電施設建設（削土造成）	H29. 1. 12	埋蔵文化財検出なし
68	徳丸町	300	個人住宅建設（合併浄化槽）	H29. 1. 16	埋蔵文化財検出なし
69	上佐鳥町	1,154	大学駆除機改築	H29. 1. 18	埋蔵文化財検出なし
70	力丸町	292	個人住宅建設（合併浄化槽）	H29. 1. 30	埋蔵文化財検出なし
71	二之宮町	294	店舗併用住宅建設（合併浄化槽）	H29. 2. 1	埋蔵文化財検出なし
72	富士見町米野	514	個人住宅建設（合併浄化槽）	H29. 2. 2	埋蔵文化財検出なし
73	柏川町深津	1,308	個人住宅建設（合併浄化槽）	H29. 2. 3	埋蔵文化財検出なし
74	総社町総社	938	集合住宅建設（室内下水道設置）	H29. 2. 6	埋蔵文化財検出なし
75	新堀町	373	個人住宅建設（合併浄化槽）	H29. 2. 10	埋蔵文化財検出なし
76	柏川町深津	600	個人住宅建設（スロープ）	H29. 2. 14	埋蔵文化財検出なし
77	西善町	315	個人住宅建設（合併浄化槽）	H29. 2. 16	埋蔵文化財検出なし
78	横手町	178	個人住宅建設（合併浄化槽）	H29. 2. 16	埋蔵文化財検出なし
79	柏川町女瀬	457	個人住宅建設（合併浄化槽）	H29. 2. 27	埋蔵文化財検出なし
80	柏川町膳	122	古墳建設（合併浄化槽）	H29. 3. 1	埋蔵文化財検出なし
81	西善町	1,133	個人住宅建設（合併浄化槽）	H29. 3. 2	埋蔵文化財検出なし
82	新堀町	257	個人住宅建設（合併浄化槽）	H29. 3. 13	埋蔵文化財検出なし
83	柏川町月田	147	個人住宅建設（合併浄化槽）	H29. 3. 13	埋蔵文化財検出なし
84	六供町	868	店舗建設（基礎工事）	H29. 3. 13 ～H29. 3. 14	埋蔵文化財検出なし
85	元総社町		区画整理（堆土抜き取り）	H29. 3. 23	土師器片
86	櫛島町	382	個人住宅建設（合併浄化槽）	H29. 3. 28	埋蔵文化財検出なし
87	元総社町	199	個人住宅建設（基礎工事）	H29. 3. 31	埋蔵文化財検出なし

(5) 平成28年度 試掘・確認調査一覧表

所在地	開発面積 m <sup>2</sup>	開発原因	調査年月日	調査結果
1 総社町総社	2,507	車両置場舗装工事	H28. 4. 18	堅穴住居 5軒、堅穴状遺構 1基、道状遺構。土師器片、須恵器片、瓦片、鉄製鍵
2 柏川町深津	2,038	宅地造成	H28. 4. 21	遺構の検出なし
3 下新田町	999	宅地造成	H28. 4. 22	遺構の検出なし
4 間根町	4,000	道路新設	H28. 4. 27	遺構の検出なし
5 富士見町時沢	2,267	ガソリンスタンド建設	H28. 5. 18	遺構の検出なし
6 新井町	918	集合住宅建設	H28. 5. 20	遺構の検出なし
7 元総社町	643	区画整理	H28. 5. 26	古墳時代の堅穴住居 2軒、古代の溝。土師器片
8 元総社町	145	区画整理	H28. 5. 26	時期不明の土坑 1基
9 五代町	3,421	駐車場建設	H28. 6. 7	遺構の検出なし
10 五代町	4,800	宅地造成	H28. 6. 8 ～H28. 6. 9	縄文時代の土坑、古墳時代の方形周溝墓、古代の堅穴住居。縄文土器片、土師器片
11 富士見町赤城山	1,549	農場建設	H28. 6. 14	縄文時代陥し穴 1基
12 六供町	5,551	道路工事・公園建設	～H28. 6. 17	時期不明の竪穴
13 二之宮町	2,771	消防庁舎建設	H28. 6. 22	遺構の検出なし。土師器片
14 江田町	2,610	宅地造成	H28. 6. 24	中世の溝
15 青柳町	10,960	宅地造成	H28. 6. 24	遺構の検出なし
16 総社町総社	885	宅地造成	H28. 6. 28	遺構の検出なし
17 西大室町	2,897	太陽光発電施設建設	H28. 6. 29	古墳 1基、講 4条。土師器片
18 朝倉町	12,066	店舗建設	H28. 7. 19 ～H28. 7. 20	古代の堅穴住居、古代～中世の溝。土師器片、須恵器片
19 北代田町	1,920	道路新設	H28. 8. 5	遺構の検出なし。縄文土器片
20 柏川町込皆川	2,990	宅地造成	H28. 9. 1	遺構の検出なし

21	元総社町	1,051	区画整理	H28. 10. 5	古代の堅穴住居。土師器片、須恵器片、瓦片
22	総社町植野	7,546	露天資材置場建設	H28. 10. 6	遺構の検出なし。縄文土器片
23	柏倉町	3,250	障害者支援施設建設	H28. 10. 12	縄文時代の堅穴住居 1軒、土坑 1基、包含層。縄文土器片、石器
24	大手町二丁目	15,531	校舎建設	H28. 10. 13	遺構の検出なし
25	川曲町	1,953	集合住宅建設	H28. 10. 18	遺構の検出なし
26	亀泉町	547	グループホーム建設	H28. 10. 26	古代の堅穴住居 2軒、土坑 2基、縄文時代包含層。土師器片、縄文土器片
27	庵座町	4,867	工場建設	H28. 11. 1	遺構の検出なし
28	富士見町時沢	2,364	切土造成	H28. 11. 15	遺構の検出なし
29	小島田町	43,612	店舗建設	H28. 11. 7 ～H28. 11. 16	古代の堅穴住居 2軒、古墳 2基、包含層。土師器片、埴輪片
30	稻川町込皆戸・ 大前田町	2,457	集合住宅建設	H28. 11. 17	遺構の検出なし
31	池端町	3,000	道路新設	H28. 11. 21	遺構の検出なし
32	閑根町	4,000	道路新設	H28. 11. 22	遺構の検出なし
33	二之宮町	7,365	農業用貯蔵施設建設	H28. 11. 22	遺構の検出なし
34	北代田町	2,198	宅地造成	H28. 12. 7	遺構の検出なし
35	北代田町	1,907	宅地造成	H28. 12. 7	遺構の検出なし
36	元総社町	1,722	デイサービスセンター建設	H28. 12. 21	古代の堅穴住居 5軒、土坑 1基、遺状遺構 1条。須恵器片、土師器片
37	五代町	4,000	区画整理	H28. 12. 21 ～H28. 12. 22	縄文時代の堅穴状遺構、方形周溝墓。古代の堅穴住居、中世の溝。縄文土器片、土師器片、須恵器片
38	元総社町二丁目	2,446	店舗建設	H28. 12. 26	遺構の検出なし
39	元総社町	1,839	店舗建設	H29. 1. 11	縄文時代の堅穴住居。縄文土器片、瓦片
40	富士見町石井	2,863	幼稚園建設	H29. 1. 13	遺構の検出なし
41	富士見町時沢	1,904	宅地造成	H29. 2. 1	遺構の検出なし
42	後家町	6,400	宅地造成	H29. 2. 9	遺構の検出なし
43	池端町	3,000	道路新設	H29. 2. 14 ～H29. 2. 15	古代の堅穴住居 2軒、溝 1条。須恵器片、土師器片
44	元総社町	1,839	店舗建設	H29. 3. 22	縄文時代の堅穴住居及び土坑、古代の堅穴住居。縄文土器片、土師器片、須恵器片、瓦片

## (6) 平成 28 年度埋蔵文化財発掘調査の内容

### ① 上野国府等範囲内容確認調査 (28A147)



遺跡位置図

事業名 上野国府等範囲内容確認調査

所在地 前橋市鳥羽町 543 番 1  
ほか

号掘立柱建物跡の柱穴の一部が検出されたことから、その位置についても確定することができた。



元総社小学校校庭の調査状況  
(48 トレンチ)

### (2) 区画溝の範囲確認調査

平成26年度に実施した元総社蒼海遺跡群(95)の調査でほぼ東西方向の古代の大溝が検出された。この大溝については、その南側で掘立柱建物も検出されていることから、官衙の区画溝の可能性が考えられるため、元総社蒼海遺跡群

(95)の西約30mの地点で範囲確認調査を実施したところ、同一の

調査期間 平成 28 年 5 月 27 日～

平成 28 年 12 月 21 日

担当者 阿久澤智和・並木史一

調査面積 422 m<sup>2</sup>

調査の経緯 上野国府は前橋市元総社町付近に設置されたと考えられているが、詳細が不明なため、平成 23 年度から範囲内容確認調査を実施している。当初の 5 カ年が平成 27 年度で終了したが、引き続き調査が必要なことから、さらに 5 カ年調査計画を延長した。平成 28 年度は第 2 次 5 カ年の 1 年次に当たる。

調査の成果 平成 28 年度は、元総社小学校校庭およびその周辺の調査を実施したほか、国庁推定地 C 案の南で確認されたほぼ東西方に向走る古代の大溝の範囲確認調査と、鳥羽町地内において推定東山道駅路国府ルート(99)の確認調査を実施した。

(1) 元総社小学校校庭およびその周辺の調査

平成27年度に再調査した「元総社小学校校庭遺跡」の 1 号掘立柱建物跡の東で柱穴が新たに検出されたことについて、平成28年度はその柱穴が関連する施設の有無の確認調査を実施した。調査の結果、1 号掘立柱建物跡から東へ 1.8m、北へ 3m (1 分間) ずらした位置で 1 号掘立柱建物跡と同規模の掘立柱建物跡 (4 号掘立柱建物跡) が検出された。これにより、昨年度新たに検出された柱穴と元総社小学校校庭遺跡 1 号掘立柱建物跡の東側の桿持柱は、この 4 号掘立柱建物跡に属する柱穴であることが判明した。また、4 号掘立柱建物と重複する小型の掘立柱建物跡 (5 号掘立柱建物跡) も検出された。柱穴の新旧関係から、4 号掘立柱建物跡よりも 5 号掘立柱建物跡のほうが新しいと考えられる。なお、調査区内で元総社小学校校庭跡の 2

ものと考えられる溝が検出されたことから、この大溝はさらに西へと続くものと推定される。

### (3) 推定東山道駅路国府ルートの範囲確認調査

平成25年度に元総社町内で推定東山道駅路国府ルートの確認調査を実施したが、道路遺構は検出できなかった。高崎市内では東山道駅路国府ルートと推定される道路遺構が連続的に転々と検出されていることから、元総社町より西の鳥羽町内に残る東山道駅路国府ルートの名残と考えられている地割上において道路遺構の有無を確認したところ、道路面と考えられる硬化面と覆土に浅間 B 軽石の堆積が認められた側溝が検出された。検出された硬化面と溝は複数存在し、硬化面と溝との前後関係や組み合わせから、道路遺構は少なくとも新旧 2 時期あると推定される。

調査のまとめ 元総社小学校校庭で検出された建物跡は、群馬大

学の調査も含めて合計で 5 棟となった。これら 5 棟は検出された位置関係から同時に存在していたとは考えられないので、今後は校庭内ですでに検出されている 2 条の古代の大溝も合わせてその前後関係を検討する必要がある。また、施設の範囲確認や、施設の性格についても明らかにする必要がある。さらにはここ数年で元総社小学校や総社神社周辺において区画溝と考えられる大溝や掘込地業をもつ建物跡・掘立柱建物跡の検出が相次いでいることから、これらの遺構についても継続的な調査と総合的な検討が必要と思われる。

また、推定東山道駅路国府ルートについては、今回の調査と関越自動車道に関連した鳥羽遺跡の調査と合せて、前橋市鳥羽町内まで確実性の高いルートを確認することができた。今後は、さらに東において道路遺構の検出に努めたい。

② 元總社蒼海遺跡群(122)  
(28A227)



**事業名** 元總社蒼海土地地区画  
整理事業  
**所在地** 前橋市元總社町  
1348-8他  
**調査期間** 平成 28 年 6 月 6 日～  
平成 28 年 12 月 22 日  
**担当者** 神宮 聰・高山 剛

跡 1 条、土坑 14 基、井戸跡 1 基、  
ピット等が検出された。特徴的な  
住居跡として H-16・18 号住居跡が  
挙げられる。H-16・18 号住居跡は、  
8 世紀の住居跡でカマドが西壁に  
構築されている。また、D-14 号土  
坑からは、大量の須恵器埴・皿が  
出土しており土器埋納土坑の可  
能性も考えられる。



2区 全景



2区 H-12 号住居跡 遺物  
出土状況

調査面積 3,012 m<sup>2</sup>

1 区	216 m <sup>2</sup>	2 区	416 m <sup>2</sup>
3 区	22 m <sup>2</sup>	4 区	66 m <sup>2</sup>
5 区	90 m <sup>2</sup>	6 区	211 m <sup>2</sup>
7 区	130 m <sup>2</sup>	8 区	1,768 m <sup>2</sup>
9 区	93 m <sup>2</sup>		

調査の経緯

平成 28 年 5 月 16 日付けで、前  
橋都市計画事業元總社蒼海土地区  
画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘  
調査依頼が前橋市より前橋市教育  
委員会に提出された。協議の結果、  
前橋市教育委員会直営での発掘調  
査を実施することとなった。これ  
を受け、6 月 6 日から現地での発  
掘調査を開始した。

調査の成果

1 区：古墳時代から平安時代にか  
けての竪穴住居跡が 17 軒、竪穴  
造構 2 基、土坑等が検出された。  
このうち、特徴的な住居跡として  
H-9・17 号住居跡が挙げられる。  
H-9 号住居跡は 10 世紀前半の焼失  
住居で、床面から鉄製馬具(轡)と  
鉄鎌が一緒に出土している。7 世

紀代の H-17 号住居跡は、住居の東  
西の壁面にそれぞれ 2 基の柱穴を  
設置し、カマドの袖部を地山の總  
社砂層を削り出して構築している  
状況を確認できた。また、6 世紀  
後半の T-2 号竪穴状造構では、土  
師器の鉢と上半部を打ち欠いた甕  
の底部が伏せて並べられ、その前  
面に壺が配置された状態で出土し  
おり、何らかの祭祀行為を窺わせ  
るものとなっている。なお、P-1  
号ピットから出土した縁付陶器の  
皿は、縁辺 3 カ所が意図的に打  
ち欠かれたような状態で出土してい  
る。



1区 H-9号住居跡馬具出土状況

2 区：古墳時代から平安時代にか  
けての竪穴住居跡 27 軒、中世の溝

は、重複関係から 11 世紀以降に築  
造されたものと考えられる。

3 区：平成 27 年度調査の上野國  
府跡調査の 33・34 レンチおよび  
蒼海(99)で確認された掘込地業を  
もつ總地業建物の南西隅部にな  
ると推定される地業跡を検出した。  
總地業建物跡は、11 世紀代の竪穴  
住居跡に一部を壊されていて、7  
世紀前半の竪穴住居跡を掘り込んで  
構築されている状況が確認でき  
た。これにより總地業建物跡は、  
東西 12m 以上、南北 12.4m の規  
模になるものと推定される。



3区 總地業建物跡土層状況

4 区：竪穴住居跡が 4 軒、溝跡 1  
条、道路状造構 1 条、土坑・ピット  
が多数検出された。竪穴住居跡  
はすべて平安時代に帰属するもの  
と考えられる。また、道路状造構



5区 蒼海城堀跡

6 区：古墳・平安時代の竪穴住  
居跡 3 軒、溝跡 2 条、土坑・ピット  
を多数検出した。

7 区：竪穴住居跡 9 軒、土坑 2 基、  
土坑墓 1 基を検出した。竪穴住居  
跡は奈良・平安時代の範疇に帰属  
するものと考えられ、特徴的な住  
居跡として北壁にカマドを構築し  
ている奈良時代の H-9 号住居跡が

ある。また、土坑墓は覆土から中世と考えられ、全体的に依存状態が悪かったが、四肢骨の状況から北頭位の屈葬と推定される。

**8区：**御塗神社北側の蒼海城の土塁調査。土塁の北側と東側の堀跡の立ち上がりを検出した。また、土塁西端部では北西方向に走行する溝を埋め戻し、土塁が構築されている状況を確認した。



8区 蒼海城土塁全景

**9区：**古墳時代から平安時代の堅穴住居跡7軒、中世の溝跡1条、土坑2基等が検出された。特徴的

な住居跡として古墳時代後期のH-1号住居跡の床面から土師器（壺・甕・瓶・鉢等）がまとまつて出土しており、該期の良好な一括資料となっている。



9区 全景

### ③ 元総社蒼海遺跡群(116)(27A210)



元総社蒼海遺跡群(116)全景



遺跡位置図

**事業名** 区画整理事業  
**所在地** 前橋市元総社町 1690-1  
他

**調査期間** 平成28年4月11日～  
平成28年10月6日

**担当者** 前田和昭（技研コンサル  
株式会社）

**調査面積** 1,830 m<sup>2</sup>

**調査の経緯** 区画整理事業において埋蔵文化財の取扱いについて協議をおこなった。これを受け平成28年2月25日付で、当該工事に伴う埋蔵文化財発掘調査・整理業務依頼が前橋市（区画整理事業）より提出された。市教育委員会では、直営による発掘調査が困難であるため、民間調査組織に業務を委託するよう前橋市と協議した。

民間調査組織への業務委託については、文化財保護課の監理、指導のもと実施することとなった。平成28年3月25日付で前橋市と技研コンサル株式会社との間で発掘調査・整理業務委託契約を締結し、発掘調査を開始した。

**調査の成果** 本遺跡からは、多く

の遺構が検出された。堅穴住居跡は繩文時代17軒、古墳時代1軒、平安時代56軒、その他に溝跡、土坑、井戸跡などが検出されている。

出土遺物も非常に多く、遺物収納箱で136箱を数える。

繩文時代の住居跡は、前期諸磯式期と中期後半加曾利E式期に大別される。8世紀から10世紀にかけての住居跡は56軒確認されたが、時代別に見ると9世紀以降が最も多い。出土遺物も多岐にわたり、奈良三彩小壺片、銅製品、綠釉陶器など貴重なものも見つかっている。特に、井戸跡の底部に崩落した瓦片から、「(那)波郡朝倉」と墨書きされた郷名平瓦が出土した。



墨書き郷名平瓦

④ 元総社蒼海遺跡群(121)  
(28A226)



元総社蒼海遺跡群(121)全景



遺跡位置図

事業名 区画整理事業

所在地 前橋市元総社町1776-1他

調査期間 平成28年7月7日～  
平成28年8月26日

担当者 中村岳彦 (技研コンサル  
株式会社)

調査面積 247 m<sup>2</sup>

調査の経緯 区画整理課と元総社蒼海土地区画整理事業において埋蔵文化財の取扱いについて協議をおこない平成28年5月9日付けて、当該工事に伴う埋蔵文化財発掘調査・整理業務依頼が前橋市(区画整理課)より提出された。市教育委員会では、直営による発掘調査が困難であるため、民間調査組織に業務を委託するよう前橋市と協議し、民間調査組織への業務委託については、文化財保護課の監理、指導のもと実施することとなった。平成28年6月20日付けて、前橋市は民間調査組織の技研コンサル株との間で発掘調査・整理業務委託契約を締結し、発掘調査は平成28年7月7日に開始した。

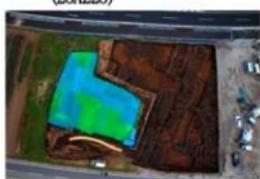
調査の成果 本遺跡からは、堅穴住居跡3軒、溝跡7条、土坑9基、土坑墓1基等が検出された。特に

4～6号溝は、周辺での発掘調査でも確認されている溝跡で、牛池川の崖線から蒼海地区の台地上を縦断するものである。溝跡は、古代に属する遺構で2時期に分かれる。古い時期のものは、7世紀半ば～8世紀末頃と推定でき、牛池川に端發して、ほぼ直線的に南流する。旧来の地形を考慮せざる直進性を維持したことから、区画溝としての性格が窺える。これに対し、新しい時期のものは、8世紀末から9世紀半ば頃と推定され、古い時期の西側を沿うように南へ向かうが、250m付近で西に向きを変える。一部土橋状に掘り残されている部分が確認できたことから、区画溝の性格がより強まつたと考えられる。



区画溝と考えられる溝跡

⑤ 元総社蒼海遺跡群(123)  
(28A228)



元総社蒼海遺跡群(123)全景



遺跡位置図

事業名 区画整理事業

所在地 前橋市元総社町1706他

調査期間 平成28年10月11日  
～平成29年3月3日

担当者 山田誠司 (技研コンサ  
ル株式会社)

調査面積 1,606 m<sup>2</sup>

調査の経緯 区画整理課と元総社蒼海土地区画整理事業において埋蔵文化財の取扱いについて協議をおこない平成28年8月8日付けて、当該工事に伴う埋蔵文化財発掘調査・業務依頼が前橋市(区画整理課)より提出された。市教育委員会では、直営による発掘調査が困難であるため、民間調査組織に業務を委託するよう前橋市と協議した。民間調査組織への業務委託については、文化財保護課の監理、指導のもと実施することとなった。平成28年9月14日付けて前橋市と技研コンサル株式会社との間で発掘調査業務委託契約を締結した。現地での発掘調査は、平成28年10月11日から開始した。

調査の成果 本遺跡からは、縄文

時代から平安時代の堅穴住居跡42軒、溝跡10条、道路跡1条などが検出した。出土遺物も多岐にわたり、縄文土器は前期・中期のもの、土師器、須恵器、綠釉陶器、灰釉陶器、瓦、鉄製品など遺物収納箱で75箱にのぼる。

縄文時代の住居跡は10軒で、中期後半加曾利E式期が中心となる。



J-9号住居跡炉半裁状況

古墳時代では、S字状口縁台付甕片を伴う初頭の住居跡、また終末期に属する住居跡も見つかっている。8～10世紀の古代では、28軒の住居跡が検出された。なかでも9世紀代が最も多い。

⑥ 元總社蒼海遺跡群(124)  
(28A229)



元總社蒼海遺跡群(124)全景



遺跡位置図

**事業名** 区画整理事業  
**所在地** 前橋市元總社町1906-1  
**調査期間** 平成29年1月30日～  
**担当者** 平成29年3月30日  
**山本千春** (有限会社毛野考古学研究所)

**調査面積** 1,335 m<sup>2</sup>  
**調査の経緯** 区画整理事業において埋蔵文化財の取扱いについて協議をおこなった。これを受け平成28年10月17日付で、当該工事に伴う埋蔵文化財発掘調査業務依頼が前橋市(区画整理事業)より提出された。市教育委員会では、直営による発掘調査が困難であるため、民間調査組織に業務を委託するよう前橋市と協議した。民間調査組織への業務委託については、文化財保護課の監理、指導のもと実施することとなった。平成28年12月20日付で前橋市と有限会社毛野考古学研究所との間で発掘調査業務委託契約を締結し、発掘調査を開始した。

**調査の成果** 本遺跡は、蒼海城本丸推定地の西側を南北に走る道路予定地の発掘調査で、検出された遺構は中世蒼海城の土塁及び堀跡である。

土塁については、総社砂屑を基盤に郭の造成土、堀の掘削土で構成される。水平層の重壘構造で概ね3層となる。

堀跡については、土塁に並行する。堀跡の土層断面を精査したところ、堀跡改修の痕跡が確認され、概ね三時期に分類することが出来る。当初の堀跡に関しては、幅が1.0mを越え深さ3.1mを計ることから、今回の調査では堀跡西側の立ち上がりは確認できなかった。

⑦ 元總社蒼海遺跡群(93街区)  
(27A224)



元總社蒼海遺跡群(93街区)全景



**事業名** 店舗建設  
**所在地** 前橋市元總社町93街区  
**1717他**  
**調査期間** 平成28年5月9日～  
**担当者** 平成28年6月10日  
**南田法正** (有限会社毛野考古学研究所)

**調査面積** 361 m<sup>2</sup>  
**調査の経緯** 平成28年1月13日、開発人より試掘調査依頼書が提出され、同月23日に試掘調査を実施した。その結果、中世以降の土坑墓・ピット等を確認した。埋蔵文化財の取扱いについて協議を行い、「現状保存」が不可能であるところから、発掘調査による「記録保存」を実施することで開発人の合意を得た。市教育委員会では、直営による発掘調査が困難であるため、「群馬県内の記録保存を目的とする埋蔵文化財の発掘調査における民間調査組織導入事務取扱要綱」により市教育委員会の監理・指導のもと、有限会社毛野考古学研究所が発掘調査を実施することとなった。

**調査の成果** 本遺跡からは、縄文時代の土器片を検出し、古墳時代から古代の畠跡、8・10世紀の住居跡9軒、土坑41基等が検出され、特に浅間山の火山灰(As-B)で埋没した住居跡は特筆されよう。

また、中世の堀・柵列・掘立柱建物跡も検出された。

⑧ 川曲阿弥陀西遺跡 No. 3  
(28A225)



川曲阿弥陀西遺跡No.3 全景



遺跡位置図

⑨ 朝倉伊勢西No.3 遺跡 (28G71)



朝倉伊勢西No.3 遺跡全景



遺跡位置図

**事業名** 店舗建設  
**所在地** 前橋市川曲町 197-1 他  
**調査期間** 平成 28 年 7 月 4 日～  
平成 28 年 10 月 12 日  
**担当者** 三ツ橋勝（山下工業株式会社）

**調査面積** 5,633 m<sup>2</sup>

**調査の経緯** 平成 27 年 11 月 4 日、開発人より試掘調査依頼書が提出され、12 月 1 ～ 4 日に試掘調査を実施した。その結果、1108 年の浅間山噴火による火山灰で覆われた平安時代末期の水田跡を確認した。埋蔵文化財の取扱いについて協議を行い、「現状保存」が不可能であるところから、発掘調査による「記録保存」を実施することで開発人の合意を得た。市教育委員会では、直営による発掘調査が困難であるため、「群馬県内の記録保存を目的とする埋蔵文化財の発掘調査における民間調査組織導入事務取扱要綱」により市教育委員会の監理・指導のもと、山下工業株式会社が発掘調査を実施することになった。

式会社が発掘調査を実施することになった。

**調査の成果** 本遺跡からは、平安時代末 1108 年の浅間山噴火による火山灰 (As-B 軽石) に覆われた水田跡が検出された。条里制に基づく南北坪界となる。溝を持った大畦も確認できた。本遺跡周辺は、近年南北に走る幹線道路沿いに大規模開発が相次いでいる。これらの開発に伴い発掘調査実績も多く、主に古代水田跡が見つかっている。この地域一帯が、稻作生産地であったことが窺える。

また、本遺跡では生産拠点への用水路として機能したと考えられる大溝を検出した。上幅で約 8m を測る。溝底面までは構造検出面から 1.8m となる。この大溝が機能していた時期は、古墳時代初頭から平安時代末以前と思われる。

居跡が検出された。集落跡を構成するもので、重複が著しい。また、10 基検出された井戸跡のうち、石組みのもの（1 基）は、比較的良好な状態であった。



検出された石組みの井戸

溝跡も 20 条検出された。低地に並行するように北西から南東へ走向する。精査した結果、造り替えた痕跡が確認できた。

**調査の成果** 本遺跡からは、9 世紀から 10 世紀にかけての竪穴住

## ⑩ 五代東田遺跡 (28C48)



五代東田遺跡全景（上が東）



遺跡位置図

**事業名** 五代南部工業団地（拡張）土地区画整理事業

**所在地** 前橋市五代町967他

**調査期間** 平成28年5月17日～

平成28年7月15日

**担当者** 日沖 剛史（有限会社

毛野考古学研究所）

**調査面積** 2,030 m<sup>2</sup>

**調査の経緯** 市産業政策課より、五代南部工業団地の拡張事業にあたり埋蔵文化財の取り扱いについて協議があった。事業地全体で試掘調査を実施することとなり、試掘調査結果を基に、記録保存を目的とした発掘調査実施に向け協議・調整をおこなった

これを受け工事担当課である区画整理課より、平成28年4月21日付で、当該工事に伴う埋蔵文化財発掘調査・整理業務依頼が提出された。市教育委員会では、直営による発掘調査が困難であるため、民間調査組織に業務を委託するよう前橋市と協議した。民間調査組織への業務委託については、

文化財保護課の監理、指導のもと実施することとなった。平成28年5月17日付けで前橋市と有限会社毛野考古学研究所との間で発掘調査・整理業務委託契約を締結し、発掘調査を開始した。

**調査の成果** 本遺跡では、調査区を1区から4区に分け調査を実施した。1区から4区の全域でAs-B（浅間B軽石：1108年降下）堆積層直下の水田跡が検出された。水田に付随する遺構として、畔跡や用水路などがあり、中でも4区はAs-B直下の水田跡が良好に残つており、縦畦5条、横畦4条検出された。これらの畦により、水田は15の区画に分かれている。

本調査では、赤城山南麓地域の谷地における土地利用形態について、貴重な資料を得ることができた。これは周辺台地上で検出されている集落跡などの様々な遺構と、今回確認された生産遺構との関係についても同様である。

## ⑪ 五代伊勢宮VII遺跡 (28C49)



五代伊勢宮VII遺跡全景



遺跡位置図

**事業名** 五代南部工業団地（拡張）土地区画整理事業

**所在地** 前橋市五代町948他

**調査期間** 平成28年7月15日～

平成28年10月26日

**担当者** 日沖 剛史（有限会社

毛野考古学研究所）

**調査面積** 3,750 m<sup>2</sup>

**調査の経緯** 市産業政策課より、五代南部工業団地の拡張事業にあたり埋蔵文化財の取り扱いについて協議があった。事業地全体で試掘調査を実施することとなり、試掘調査結果を基に、記録保存を目的とした発掘調査実施に向け協議・調整をおこなった

これを受け工事担当課である区画整理課より、平成28年6月17日付で、当該工事に伴う埋蔵文化財発掘調査・整理業務依頼が提出された。市教育委員会では、直営による発掘調査が困難であるため、民間調査組織に業務を委託するよう前橋市と協議した。民間調査組織への業務委託については、文化財保護課の監理、指導のもと

実施することとなった。平成28年7月14日付けで前橋市と有限会社毛野考古学研究所との間で埋蔵文化財発掘調査業務委託契約を締結し、発掘調査を開始した。

**調査の成果** 本遺跡では、縄文時代から平安時代にかけての遺構、竪穴住居跡14軒、方形周溝墓2基、掘立柱建物跡2棟、土坑84基などが検出された。



4号住居跡の検出状況

古墳時代の住居跡は、調査区南東に集中しており、すべて焼失住居であった。中には、火災で屋根が焼け落ちた後に、埋め戻しが行なわれた形跡も確認できた。

## ⑫ 端気下曲輪古墳



端気下曲輪古墳調査風景（西から）



遺跡位置図

**事業名** 集合住宅建設工事

**所在地** 前橋市端気町 267-8、  
267-3 の一部

**調査期間** 平成 28 年 11 月 22 日  
～平成 28 年 12 月 9 日

**担当者** 藤坂和延、小峰 篤、  
寺内勝彦（前橋市教育  
委員会）

**調査面積** 約 100 m<sup>2</sup>

**調査の経緯** 民間開発工事（集合  
住宅建築）施工時に、巨石で構築  
された空間が見つかった旨の連絡  
が施工業者から連絡があった。現  
地に赴き確認した結果、古墳石室  
であることが判明した。緊急的な  
措置として、遺構図化と写真記録  
調査をおこなった。

**調査の成果** 当該古墳は円墳で、  
発見時の墳丘部は、2／3程度が  
残っておりで、主に竹林に覆われ  
ていた。石室については、東壁側  
の根石と 2～3 段目までの石材が  
部分的に残っていた。西壁側は確  
認できなかった。奥壁も同様で東  
側の 2 段目までは確認できた。



石室の状況

## 2 市内遺跡発掘調査事業

### (1) 事業の目的

試掘・確認調査の実施は、主に周知の埋蔵文化財包蔵地内外における比較的規模の大きな土木工事について、その施工により遺跡が破壊されることを未然に防ぐため、地理的状況や周辺での調査実績などを考慮し、遺構の有無、包蔵地内に至っては遺跡の範囲や残存状況などを確認することを目的とする。試掘・確認調査実施にあたっては開発者との協議を前提とし、その趣旨について理解と協力のもとに成り立っている。調査の結果、遺構や遺物等を確認した場合は、群馬県埋蔵文化財発掘調査取扱い基準に基づき、開発者と埋蔵文化財の取扱いについて協議を行う。試掘・確認調査は、埋蔵文化財の現状保存または記録保存（発掘調査）のための基礎調査の面も併せ持つと考えられる。

### (2) 試掘・確認調査の方法

#### ① 遺構確認のための掘削作業

工事予定地にトレンチを設定し、重機による掘削の後、人手による精査を行う。トレンチ内で埋蔵文化財の有無、またその範囲や密度、検出深度など、埋蔵文化財の内容確認を行う。試掘・確認調査面積は、開発対象面積の1割程度を基準とする。

#### ② 記録作成

掘削したトレンチ位置や検出遺構の分布状況を記したトレンチ配置図を作成する。また、調査地の基本的な土層状況を確認するため、トレンチ内的一部について深掘りし土層断面図を作成する。図面記録の他に、35mmカラーリバーサルフィルム及びデジタルカメラを使用して写真撮影を行い、写真記録を作成する。

### (3) 調査結果

本年度は、別表の「平成28年度試掘・確認調査一覧表」のとおり、試掘・確認調査を44件実施した。このうち、21件で埋蔵文化財を検出した。

#### ① 検出した遺構の主な時代

縄文時代、古墳時代、奈良時代、平安時代、中世

#### ② 検出した遺構の主な種類

堅穴住居跡、水田跡、溝跡、堀跡等

#### ③ 発掘調査を実施した遺跡

ア 元総社着海遺跡群(93街区)

(前橋市0142遺跡)

古墳時代～古代の墓跡、古代の住居跡、中世  
堀跡、柵列、掘立柱建物等

イ 川曲阿勃乾西遺跡No3

(前橋市0333遺跡)

古代の水田跡、中・近世の井戸跡、溝跡、  
土坑等

ウ 朝倉伊勢西No3遺跡 (前橋市0285遺跡)

・前橋市0286遺跡)

古代の住居跡、溝跡、井戸跡等

## 3 遺跡台帳整備事業

### (1) 前橋市遺跡地図の更新

平成15年度から開始した遺跡地図作成事業は、平成24年度に「前橋市遺跡分布地図」を刊行し、平成25年度以降からも開発に伴う発掘による遺跡分布地図の更新について検討しており、継続して更新作業の実施を予定している。

### (2) 遺跡GISの更新

平成20年度から開始した遺跡GIS事業は平成28年度までの遺跡分布範囲のデータ化を終了した。次年度以降も開発に伴う発掘調査の成果を遺跡GISへ随時更新を行い、情報を追加していく。また、重要文化財情報もGISに搭載し、内容の充実を図っていく。

## 4 埋蔵文化財資料整備事業

### (1) 普及パンフレット「い・せ・きワールド・in 前橋」の作成



「い・せ・き ワールド in 前橋 2017」 表面



「い・せ・き ワールド in 前橋 2017」 裏面

平成28年度に前橋市内で実施した埋蔵文化財発

掘調査の成果を広めるため、A3版の両面印刷(両面カラー)の「い・せ・き ワールド in 前橋 2017 平成28年度の発掘調査成果」というパンフレットを作成した。

作成部数は7000部で、両面とも写真を多く取り入れ、調査内容をわかりやすくまとめた。

平成29年度初めに市内小・中学校並びに市立図書館、教育関係者等に配布し、埋蔵文化財に関する啓発活動の資料として普及に役立てた。

#### (2) 出土資料の活用（貸出展示）

常設展示

##### ・群馬県立歴史博物館

市之関前田遺跡・柏倉芳見沢遺跡出土石器  
苗ヶ島大畑遺跡・前橋天神山古墳出土土器  
元総社蒼海遺跡群出土青白磁梅瓶

##### ・岩宿博物館（みどり市）

上ノ山遺跡・市之関前田遺跡出土石器  
企画展示等

##### ・群馬県立歴史博物館

前二子古墳出土埴輪

##### ・群馬県埋蔵文化財調査事業団

元総社蒼海遺跡群・山王廃寺・桧峰遺跡  
出土奈良三彩・須恵器・土師器

##### ・アーツ前橋（前橋市）

旭久保C遺跡出土土器

##### ・高崎市観音塚考古資料館（高崎市）

後二子古墳出土埴輪・須恵器

##### ・安中市学習の森ふるさと学習館（安中市）

前二子古墳出土須恵器・土師器

##### ・岩宿博物館（みどり市）

堀越甲真木B遺跡・熊の穴II遺跡出土石器

#### (3) 貸出用資料の整備（写真・遺物・図面）

博物館からの遺物借用依頼のほか、出版社等から の遺跡や遺物の写真提供依頼が増加しており、展示 や貸出に頻繁に利用する遺物・写真などの資料を利 用しやすくなるため、報告書記載の遺物の整理およ び報告書の実測の写しと一緒に管理するなどの整備 を行った。

#### (4) 展示成果

##### ① 総社歴史資料館

平成28年10月に開館した総社歴史資料館では、総社・元総社地区で出土した遺物を展示している。代表的なものは、山王廃寺出土の「放光寺」と記された瓦および塑像群、山王古墳出土の大刀形埴輪、元総社地区的推定上野国府出土の墨書き土器、元総社蒼海遺跡群出土の奈良三彩などである。

##### ② 元総社公民館

元総社地区的土地区画整理に伴う発掘調査の成 果である壺や高盤などの出土遺物、上野国府に開運 する人形や墨書き土器などの複製品、写真などの展示 を行っている。

##### ③ 芳賀公民館

芳賀地区は縄文時代の遺跡が多数調査されてい る。芳賀地区から出土した縄文土器、縄文土器の変 遷などの開設パネル、発掘調査写真などの展示を行 っている。

##### ④ サンデンファシリティ

見学者体験教室「森の教室」に縄文土器や石器、 土師器、須恵器などの遺物、発掘調査状況や住居、 墓などから遺物が見つかった様子など撮った写真 パネルを展示している。

##### ⑤けやきウォーク前橋

市民プロジェクト作成の金銅製冠を引き続き展 示したほか、大室古墳教室製作の装飾壺、脚付装飾 壺、馬具(双葉茎菱形杏葉)4点、縄文耳飾り3点な どの展示を行っている。

#### (5) 鳥羽収蔵庫資料展の開催

鳥羽収蔵庫は、平成26年度に群馬県工業試験場跡 地を活用して整備を行い、現在、文化財保護課で保 管・管理する埋蔵文化財や民具等の資料の主たる収 蔵庫となっている。保管する資料は相当数に上り、 資料的価値の高いものも多いため、前年度に引き続 き、平成28年11月20日に資料展を開催し、一般公 開した。

展示室には、鳥羽収蔵庫の所在する元総社地区か ら出土した遺物を縄文期～中世までの編年で展示 したほか、元総社中学校遺跡から出土した銘印瓦や元 総社蒼海遺跡群(105)から出土した茶臼など、市内に おける平成27年度の調査で出土した遺物も調査成 果速報として展示し、150点を公開した。また、鳥 羽収蔵庫の保管状況の見学を行った。来場者からは 貴重な機会であったとの声があった。

#### (6) 発掘調査資料の整理作業

堀越甲真木B遺跡の旧石器時代の石器の整理作業 を平成25年度から継続して実施している。堀越甲 真木B遺跡は、堀越町530-2にあり標高165mの台 地上に立地する。調査は、平成14(2002)年度に遊 技場駐車場造成にともなって旧大胡町教育委員会が 実施した。関東ローム層AT下から1693点の旧石器 が発見された。本市はもとより関東地方の旧石器を 研究する上で極めて貴重な資料であるが未整理とな っていた。

① 平成25年度に器種認定、大きさ、重さ、石材等 の台帳作成を行った。

- ② 平成 26 年度には石器接合作業、石器実測、分布図作成作業を行った。(年報 45 参照)
- ③ 平成 27 年度は接合資料 41 個体の実測とトレースとナイフ形石器などの石器トレース、遺物分布図、器種別分布図、石材別分布図、石器接合図などの作成を行った。なお、報告書は図版編と本文編の 2 分冊で作成予定である。
- ④ 平成 28 年度には図版編の編集、石器写真撮影を行った。
- ⑤ 平成 29 年度に本文編の作成を予定している。報告書については PDF ファイルで作成をしておき必要に応じて印刷する予定である。
- すでに認定した器種はナイフ形石器 26、削器 45、搔器 1、彫器 1、揉切器 1、楔形石器 1、敲石 8、磨石 1 点であるが、今後、詳細な器種認定を実施するため若干の変更が生ずる。石材は黒色安山岩 783 点・15kg、黒曜石 688 点・1.7kg、黒色頁岩 174 点・5.4kg が主な石材である。

## 5 文化財資料管理

### (1) 寄贈図書用務・報告書一斉送付

平成 28 年度は、他教育委員会、他自治体、各埋蔵文化財調査団体及び個人等から寄贈図書があった。この寄贈に対する返礼の意味も含め、情報交換及び前橋市の文化財保護行政の周知のため、3 月に『推定上野国府へ平成 26 年度調査報告』他 19 冊を 290 ヶ所に送付した。

### (2) 写真資料・図面資料等のデジタル化に関するこ 劣化していく写真ネガをデジタル化保存し、資料の 保存を図り、資料の活用の利便性を目的とする。平成 28 年度は後二子古墳に関係する図面のデジタル化を行なった。さらに山王廃寺出土塑像の県重要文化財の 指定に関連して、塑像に関する各種文献を p d f 化し て利便性を図れるようにした。

## 6 上野国府等保存整備事業

### (1) 上野国府等調査委員会の実施概要

元総社町に存在したとされる上野国府の国府や諸施設の概況を把握するための発掘調査を平成 23 年度から「上野国府等範囲内容確認調査事業」として実施している。本事業を推進するにあたり、上野国府等調査委員会において、上野国府とそれに密接な関係をもつ周辺遺跡の調査計画と整備内容の検討を十分に行ないながら事業を実施してきた。

本年度は第 2 期 5 カ年計画の初年度にあたる。本年度の調査成果を再確認のうえ、来年度の調査計画について協議し調査箇所等について検討するため、以下のとおり委員会を開催した。

- (2) 第 24 回上野国府等調査委員会  
開催日 平成 29 年 2 月 23 日(木)  
開催場所 文化財保護課 2 階会議室



### 《報告》

- ① 平成 28 年度元総社蒼海遺跡群発掘調査の成果について  
② 平成 28 年度上野国府等範囲内容確認調査の成果について  
③ 第 23 回委員会における指摘事項への対応経過について

### 《協議内容》

- 平成 29 年度上野国府等範囲内容確認調査事業計画について

### 《主な意見》

- ・ 国府の範囲を確認することは調査の主たる目的のひとつであり、断定できないものの関越自動車道寄りの南北部分には国府区域の西側境界があることが疑われる。
- ・ 元総社小学校校庭で検出された掘立柱建物や区画溝について、建物と溝の位置関係から、1 号建物と 4 号建物が国府役人の官舎であり、1 号建物を囲う堀が校庭西端の区画溝、4 号建物を囲う堀が 3 号建物横の区画溝という想像をすることができる。
- ・ 元総社小学校校庭で検出された掘立柱建物はみな正方形に揃い、計画的な建物配置が読み取れることから、この校庭での調査は重要である。
- ・ 939 年の平将門の上野国府占拠や 997 年の大火灾によって府院が焼けたという記録があることから、10 世紀末までは国府の中心部分が存続していたことになる。10 世紀代の堅穴住居がどのような分布をしていたか押さえられると、国府城全体の変遷のあり方を掴む手がかりになる。
- ・ 国府域内における時期別の遺構分布を示す詳細図面を作成するにあたり、今までの調査成果と実績から想定される将来計画の 2 つを分けて表記した方が良い。

## あとがき

前橋市文化財保護課が平成28年度に実施した事業の概要をここに記しました。われわれの業務は、文化財を調査し、文化の継承を支援し、守るべき文化をつがなく後世に伝え残してゆくことですが、毎年刊行しているこの年報の編集作業は、この1年で積み上げてきたものを改めて顧みる機会となります。

達成感、反省、感謝、様々な感慨が湧き上がります。

次はどうのような思いで1年を振り返ることになるでしょうか。充足感をもって次号が刊行できるよう、精一杯業務に取り組んで参りたいと思っております。

平成29年3月31日

文化財保護課長 小島 純一

### 平成28年度

#### 前橋市文化財調査委員

井上 唯雄  
大森 威宏  
岡田 昭二  
能登 健  
村田 敏一

#### 文化財保護課職員

文化財保護課長	小島 純一
文化財保護課専門員	前原 豊
文化財保護係	
副事務係長	田中 隆夫
副主幹	大澤 範之
"	登山 伸一
"	大野 裕史
"	江黒 啓一
"	吉田 和夫
"	小川 卓也
主任	齊藤 直樹
"	本館 美保

#### 埋蔵文化財係

埋蔵文化財係長	梅澤 克典
副主幹	神宮 聰
"	並木 史人
主査	福島 浩樹
主任	藤坂 和延
"	高山 剛
"	小峰 篤
"	渡辺 亮介
"	阿久澤智和
"	寺内 勝彦